

令和3年度

事業報告及び財務報告書

社会福祉法人

東村山市社会福祉協議会

目 次

事業報告	1
I 福祉のまちづくり事業	
1 地域福祉活動推進事業	2
2 標準服リユース事業	12
3 ボランティアセンター	12
4 福祉教育活動の推進	15
5 高齢者生きがい事業	18
6 健康長寿のまちづくり推進室事業	20
7 老人クラブ等助成事務及び育成相談事業	20
II 相談事業	
1 総合相談事業	22
2 生活福祉資金貸付事業	23
3 ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業	27
4 応急小口資金貸付事業	27
5 中部地域包括支援センター（基幹型）	28
6 中部地域包括支援センター（地域型）	30
7 東村山市基幹相談支援センター	34
8 福祉サービス総合支援事業	38
9 成年後見制度推進事業	43
III 在宅福祉サービス事業	
1 居宅介護支援事業、介護予防ケアマネジメント、介護予防支援事業	48
2 訪問介護事業、介護予防・日常生活支援総合事業第一号訪問事業 ..	49
3 ガイドヘルパー派遣事業	51
4 ふれあい事業	53
5 手話通訳者派遣事業	54
6 移送サービス事業	57
7 車いす短期貸出事業	57
IV 法人運営	
1 組織運営事業	58
2 計画推進・調査・広報・連絡調整	65
財務報告	71

令和3年度（2021年度）事業報告

コロナ禍が長期化する中、社会福祉協議会には高齢者の介護相談や生活困窮の方の相談が急増しました。職員は感染の不安や丁寧な相談支援が難しい中でも、相談者一人ひとりに向き合い、エッセンシャルワーカーとしての使命と役割を全うし、生活を支援してきました。

対応したケースの中には、制度の隙間で複雑化・複合化した困難な相談に対して、係間連携を強化し、社会福祉協議会の総合力を発揮することで解決の糸口を探りながら対応してまいりました。以下、令和3年度重点目標に沿った形で事業概要を報告します。

1. 活動の見える化と情報発信力の強化

第5次地域福祉活動計画の重点アクションチーム「行きたくなる場&場づくり」と連携して、新しい日常生活を取り入れたサロン活動を動画に編集し、社協のホームページから視聴できるようにすることで、安全・安心な活動再開のきっかけづくりを行いました。

2. 狭間のニーズに対応する独自事業の強化とそのための財源確保

今まで社会福祉協議会の相談やサービスを利用したことのなかった方々との出会いやつながりが生まれました。ひとり親家庭の新たな社会課題に直面する中から、食料品や日用品等を支援する「お届けぽんたくん」、「ぽんたマーケット」の取り組みが生まれました。

3. コロナ禍における地域福祉活動の開発及び支援

オンラインによる会議や講座が増加する中、スマートフォンの操作に不慣れな方向けに「オンラインお試し講座」を開催し、情報が届きにくい方への対応や社会参加を促すきっかけを作りました。

4. 福祉協力員会を核とした「5つの手」による「一人ぼっちないない町づくり」

地域活動を自粛せざるを得ない中であっても、本人が望まない孤独・孤立が起こらないよう、ミニコミ紙による情報提供や電話・お手紙による訪問、ご近所同士のゆるやかな見守りなどを通して、地域の中のつながりを絶やさないうために、今できることを工夫して実行しました。

5. 第5次地域福祉活動計画及び社協発展・強化計画の着実な推進

「まちなか護美プロジェクト」には、見守り活動団体、福祉施設・事業所、職能団体から延べ13回の活動をしていただきました。「子ども協力員（ボラチル）」は10名の登録となり、地域福祉大会の手伝いをはじめ、募金活動への協力、ボラチルガーデンに参加いたしました。

こうしたコロナ禍での取り組みは行政、民生委員・児童委員協議会、社会福祉法人、関係機関、企業、そして地域住民の皆さまとの連携・協力がなくては推進できるものではありません。社会福祉協議会が、より一層社会の信頼と共感を得られる組織にならなくてはならないと感じた1年でありました。

I 福祉のまちづくり事業

1 地域福祉活動推進事業

(1) 福祉協力員会活動の推進 【協力員数 560名 ※令和4年4月1日現在】

新型コロナウイルス感染症の拡大は、外出の自粛や大勢が集まることの制限など地域福祉活動に大きな影響を与えた。しかしその一方では、地域のつながりの大切さを再認識させられることになり、「一人ぼっちないない町づくり」を目指して、“5つの手”を柱に福祉協力員会活動の推進に努めた。4月25日から6月20日の緊急事態宣言期間中は、公共施設の利用も休止され活動も再び停滞したため、7月には社協の状況を伝え福祉協力員との繋がりを絶やさぬよう『協力員☆タイムズ第2号』を発行し、『ボランティアネット』、『令和2年度各町の活動』と共に全福祉協力員へお届けした。また、地域福祉活動計画事務局と協働で、福祉協力員対象のオンライン地域懇談会を企画し、参加を呼び掛けた（再掲）。

◇地区長会の開催

回	日時・会場	内 容
1	4/30(金) 10:00～11:30 →右記に係る資料送付に変更	1. まち担当職員紹介 2. “5つの手”をすすめて「ひとりぼっちないない町」づくり 3. 前年度報告書、今年度計画書等と活動費の交付 4. 募金運動と社協会員会費について 5. 長寿を共に祝う会関係者会議ご案内、広報紙情報交換まとめ
2	1/31(月) 10:00～12:00 →右記に係る資料送付に変更	1. 令和3年度事業及び決算報告書、令和4年度事業計画・予算書の提出について 2. 今後の「長寿を共に祝う会」について 3. 3募金報告 4. ぽんたマーケット報告

◇13町ごとの活動支援

町名	交流行事の実施	定例活動、個別支援活動
本 町	○けんこう茶話会 中止 ○長寿をともに祝う会 中止 ○おひなまつり会 中止	○大岱小学校新1年生下校見守り
久米川町	○長寿を共に祝う会 中止	○元気アップ萌木（毎週木曜日）7月からふれあいセンターを会場に再開 ○サロン久米川1丁目（毎週月曜日）
秋津町	○ふれあい茶話会 中止 ○長寿を共に祝う会 中止 ○ふれあい作品展 3/4～3/6	○サロンひなぎく（第3火曜日）会場を変更して4月、7月、10月～1月に実施
青葉町	○長寿を共に祝う会 中止 ○グランドゴルフ大会（10/24、3/13） ○男の料理教室 中止 ○吉田さろんミニバザー 中止	○2丁目昼食会（第2.4木曜日…下堀自治会館）中止 ○3丁目昼食会（第1.3木曜日…青葉地域センター）中止 ○おしゃべり会（第1.3月曜日・吉田さろん）中止

恩多町	○長寿を共に祝う会（記念品配付）中止	○野火止小学校新1年生下校見守り ○大岱小学校新1年生下校見守り ○お散歩 MAP 作成、コース散策 10月、11月 ○恩多おしゃべり会（第4金曜日）11月、12月 ○グリーンサロン（第3金曜日）11月、12月 ○恩多見守り隊・キレイ化（第1水曜日）中止
萩山町	○2・3・4丁目お楽しみ会 中止 ○5丁目お楽しみ会 中止 ○1丁目お楽しみ会 中止 ○長寿を共に祝う会 中止 ○講座 中止	○ふれあい交流「はぎの花」 （萩山公民館 第3水曜日、ちびっこ広場 第4金） ※7月より再開、人数を制限し、感染防止に努めながら実施。「ミニミニ敬老会」「ミニミニコンサート」などを企画。 ○ミニ喫茶はぎ（第1水曜日）中止
栄町	○長寿を共に祝う会（記念品配布）中止 ○バザー(10/31) ○おひなまつりの会 中止	○栄サロン（第4火曜日） ※感染防止に努めながら7月、10～12月に実施。 ○大岱小学校新1年生下校見守り
富士見町	○ふれあいゲートボール 中止 ○ふじみお楽しみ茶話会 中止 ○ふじみふれあいコンサート 中止 ○長寿を共に祝う会 中止	○ふれあいサロン 花いかだ ※サロンは中止したが、夏・秋に4丁目公園にて地域の児童等とラジオ体操を実施
美住町	○みすみふれあい交流 中止 ○長寿を共に祝う会 中止	○みすみサロン ※感染予防に努めながら2回実施。また、サロンが開所できない間、利用者へスタッフが月1回電話訪問を行った。
廻田町	○長寿を共に祝う会 中止 ○グラウンドゴルフ大会 11/14 ○講演会 1/15	○めぐりたサロン（第4水曜日） ※人数制限、感染防止に留意しながら7月～12月実施。（公民館使用再開につき） ○めぐりたサロン料理教室（偶数月第3水曜）中止
多摩湖町	○長寿を共に祝う会（記念品配付）中止	○手芸サロンひまわり（第1月曜）
諏訪町	○諏訪町おたのしみ会 中止 ○春のコンサート 中止 ○長寿を共に祝う会（記念品配布）中止	
野口町	○社協会員向けメッセージ作成 ○長寿を共に祝う会 中止	○野口町2丁目都営アパート繋がりづくりマッピング参加

◇施設などへの協力、広報紙の発行、研修、会議

町	地域での連携 施設・学校などへの協力	広報紙発行 講座開催、研修	会議（全体会・部会等）
本町	○白十字ホーム菖蒲まつり/ クリスマスプロジェクト ○本町さくらまつり 中止	○広報「ゆかいなほんち ょう」（1,400部・7月、 1,000部3月発行） ○男の料理教室 中止	○全体会（3回） ○役員会（5回） ○長寿実行委員会 中止 ○コミ紙編集委員会 （7回）

久米川町	○梅岩寺盆踊り 中止 ○久米川共同作業所行事 ボランティア 中止 ○ふれあいセンターまつり 中止	○広報「久米川町福祉だ より」(3,500部)3月 発行 ○協力員ニュースレター (7月,10月,12月)発 行	○役員会(13回) ○全体会(2回、含書面 開催)
秋津町	○施設へのボランティア活動 はるびの郷・毎週月曜日、 あきつの里・毎週 中止 ○ふれあいセンター美化活動 中止	○広報「あきつ」 (4,000部・5月、9月、 1月発行) ○講座「男の料理」中止	○全体会(5回) ○役員会(5回) ○ハーモカ・ウレバント「ト レミアどん」(サロン・茶話 会等で演奏)随時
青葉町	○白十字ホーム菖蒲まつりプロ ジェクト/クリスマス・新年 会 ○2丁目夏祭り 中止 ○施設ボランティア 中止	○広報「青葉ちゃんね る」 (5,000部,12月・3月発 行) ○講座「男の料理」中止	○全体会 (6回) ○部長会 ※7月委嘱状等職員 がポスティング
恩多町	○三世代交流会 第4(日) ○さくらテラス青葉町 散歩付 添、車いす整備(第2、4水 曜日)中止 ○恩多町納涼祭 中止 ○なごみの里防災訓練 中止	○広報「みんなの恩多町 臨時号 恩多町と近く のお散歩MAP作成」 (800部,8月発行) 45号(1500部、3月発 行) ○男の料理教室(6、9月の 第1火)中止 ○バス研修 中止	○役員会(10回) ○定例会(5回)加え て書面開催1回) ○ミニコミ紙編集委員 会(7回)※Zoomを活 用
萩山町	○親子のひろば「どんぐり」 スタッフボランティア (7月より再開/7回実施) ○南部地区マッチングイベント 延期 ○介護予防大作戦地域推進委員会 (7回)、地域開催(11/27)	○広報「はぎやま」(2回 発行)	○全体会(8回) ○役員会(10回) ○ミニコミ編集会議(10回) ○あいさつ運動推進委 員会(3回)
栄町	○南部地区マッチングイベント 延期 ○介護予防大作戦地域推進委員会 (6回)、地域開催(11/14)	○広報「さかえ町福祉協 力員会だより」(2回発 行) ○バス研修 中止 ○公開講座 中止	○全体会(6回) ○役員会(10回) ○ミニコミ紙編集会議
富士見町	○さつき荘お楽しみ食事会中止 ○あゆみの家合同祭り 中止 ○ハトホームお話相手 中止 ○さやま園夏まつり 中止 ○村山苑合同納涼祭 中止 ○ふじみ玉すだれ一座(ボラン ティア公演)1回 ○富士見憩の家・児童館との交 流 メッセージカードの作成	○広報「ふれあい富士見 町」(1回発行)	○全体会(6回) ○役員会(11回) ○ミニコミ紙編集委員会 ○長寿実行委員会
美住町	○みすみサロン10周年のつど い	○広報「みすみ」(1回 発行)	○全体会(6回) ○役員会(11回)

	○団地夏祭り 中止 ○団地祭 中止		○ミニ紙編集委員会 ○長寿実行委員会
廻田町	○白十字ホーム菖蒲まつりプロジェクト ○白十字ホームクリスマス・新年会	○サロンバス研修 中止	○拡大役員会 (1回) ○全体会 (8回、加えて書面開催1回)
多摩湖町	○多摩湖町さくらまつり中止 ○昼食会 中止 ○多摩湖町納涼の集い 中止 ○ふれあいセンターまつり 中止 ○白十字ホームクリスマス・新年会	○広報「ふれあいたまこ」(2,400部,9月・3月発行)	○全体会 (4回) ○役員会 (4回) ○編集会議(4回)
諏訪町	○白十字ホーム菖蒲まつりプロジェクト/新年会 ○白十字ボランティア 中止 ○化成小ボランティア 中止 ○化成小・白十字ホーム里孫活動 中止 ○化成小認サポ 中止	○広報「わが町諏訪町」(2回発行)	○全体会 (3回) ○運営委員会 (6回) ○役員会 (1回) ○長寿実行委員会 ○広報紙編集委員会
野口町	○ボラチルガーデンづくり 4/24 ○白十字ホーム菖蒲まつりプロジェクト/クリスマス・新年会 ○白十字ホームボランティア 中止 ○猿田彦神社夏まつり 中止		○全体会 (1回) 加えて書面開催1回) ○役員会 (5回) ○ふれあい委員会 中止 ○研修委員会 中止 ○地域交流委員会 中止 ○広報委員会 中止

◇各町の活動財源

町名	自主事業	財 政				協力員数	会員数
		社協助成	自主事業	その他	合計		
本 町		103,540	0	253,004	356,544	28	265
久米川町		137,760	0	313,550	451,310	64	668
秋津町		133,780	0	218,659	352,439	67	467
青葉町	サロン参加費	113,720	1,600	495,257	610,577	44	283
恩多町	バザー収入、サロン参加費	122,680	10,880	402,359	535,919	60	326
萩山町		116,260	0	305,316	421,576	42	393
栄 町	サロン参加費	115,220	33,860	266,500	415,580	46	249
富士見町		113,560	0	350,280	463,840	37	445
美住町	サロン参加費	102,040	18,200	461,224	581,464	29	228
廻田町	講座等参加費	105,880	16,600	312,439	434,919	31	246
多摩湖町		114,780	0	205,260	320,040	39	268
諏訪町		119,740	0	200,089	319,829	46	508
野口町		106,860	0	576,949	683,809	27	378

(2) 地域ネットワーク活動の推進（発展・強化計画関連事業）

項 目	実 績																																										
地域懇談会の開催	○諏訪町地域懇談会幹事会（3回）、役員会（1回） ○福祉協力員対象オンライン地域懇談会 8/23 ※再掲																																										
地域ネットワーク活動の支援	現在、市内8町10ある地域ネットワーク活動の運営推進、課題解決等のため、会議や活動に参加した。 【萩山町あいさつ運動】推進委員会（3回） 【諏訪町ゆっと】幹事会（4回）、運営委員会（6回）、サロン（7回）交流会（1回）広報紙発行（2回） 【青葉安心ネット】運営委員会（10回）、カフェを交流会として実施（6回）、#護美プロジェクト活動（3回）、広報紙発行（3回） 【アミーゴ青葉制作委員会】委員会（1回） 【秋津あんしんネット】運営委員会（11回） 7月、9月に特別養護老人ホームはるびの郷の美化活動実施、10月からふらっとカフェ（2回、屋外）と#護美プロジェクト活動（2回）の開始 【本町だいじょうぶだぁネット】運営委員会（7回） 5/22 オンライン総会&研修会、キャラクター・ネーミング募集を本町児童館の協力で実施、研修班・広報班導入 【野口町あいさつふれあい運動実行委員会】実行委員会（3回） 昨年度から企画の認知症声かけ体験会は感染拡大への配慮で延期 【富士見町あいさつ運動】推進委員会（1回）、実行委員会（2回） 【富士見町施設連絡会】連絡会（1回）広報委員会（3回）、広報紙発行（1回） 【WE♥恩多町プラン推進会】（4回） 市内小学校でのあいさつ運動の再開、#護美プロジェクト始動に向けて協議検討																																										
住民活動の拠点（ふれあいスペースいっぷく）	南部エリアの拠点として栄町・萩山町福祉協力員会の会議や事業での利用のほか、高齢者や障害者のサロン活動、ボランティアグループの話し合いの場など様々な地域活動で利用されている。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、緊急事態宣言中の4月27日～6月20日まで休館。6月21日より定員10名に利用人数を制限して再開。まん延防止等重点措置の発令により、1月21日～3月21日まで人数制限、3月22日より制限解除となる。 利用実績（延べ） <table border="1" data-bbox="435 1585 1433 1731"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>団体数</td> <td>11</td> <td>／</td> <td>3</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>13</td> <td>14</td> <td>11</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>101</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>56</td> <td>／</td> <td>17</td> <td>44</td> <td>50</td> <td>51</td> <td>69</td> <td>82</td> <td>91</td> <td>54</td> <td>45</td> <td>53</td> <td>612</td> </tr> </tbody> </table> ① いっぷく運営連絡会の開催 地域のふれあいと交流のよりよい場づくりを目指して、利用団体等と意見交換、大掃除を年3回行っている。7月は感染拡大防止対策として2部開催、11月は会場とオンラインでのハイブリット開催、3月は書面開催とした。オンライン開催にあたり、事前に団体向けのオンラインおためし講座を実施し、参加しやすい環境づくりに努めた。 第1回：7月5日（月）1部 10：00～11：00 5団体6名参加／2部 13：30～	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	団体数	11	／	3	7	7	9	10	13	14	11	8	8	101	人数	56	／	17	44	50	51	69	82	91	54	45	53	612
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計																														
団体数	11	／	3	7	7	9	10	13	14	11	8	8	101																														
人数	56	／	17	44	50	51	69	82	91	54	45	53	612																														

	<p>14:30 4団体9名参加</p> <p>第2回:11月1日(月)13:30~15:30 オンライン5団体6名、会場6団体5名参加</p> <p>②ボランティア活動等の支援</p> <p>ベルマークボランティア 日時:毎月第1火曜日 13:30~15:00</p> <p>内容:ベルマークの企業別整理、計算</p>
(吉田さろん)	<p>ボランティアグループや青葉町福祉協力員会、見守りネットワーク活動等、青葉町の地域活動拠点として利用されている。新型コロナウイルス感染拡大防止のために発出された緊急事態宣言により4月25日~6月20日は利用中止、それ以降も夜間の利用は中止、まん延防止等重点措置の発令により、1月21日~3月21日まで人数制限、3月22日より制限解除となる。</p>
地域防災活動及び避難所運営連絡会への参画	<p>富士見町4丁目の防災を考える講演(自治会主催)参加(11/28)</p>
自治会等との懇談会	<p>富士見町第一住宅自治会助け合い活動を検討する会(11/27)参加</p> <p>美住町あんしん交流会参加(5回)</p>

(3) 第1層生活支援コーディネーター事業

昨年度に続き、上半期は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて地域活動が制限される状況下であったが、コロナ禍においても話し合う場が継続できるよう、会議の開催時期の調整、リモートの活用等、感染対策を徹底して動きを止めないように努めた。

項目	実績								
第1層協議体の推進・発展	<p>昨年度の東村山ささえ合い活動推進会議(第1層協議体)で取りまとめた『地域活動からささえ合いが生まれるしくみ』に基づいて、意見交換を行い、具体的な取り組みについて検討した結果、シンポジウムを開催するに至った。</p> <p>【定例会議の開催】</p> <table border="1"> <tr> <td>第1回 5/13(木) →書面開催</td> <td>第2回 7/7(水) →会場開催</td> <td>第3回 9/1(水) →ハイブリット開催</td> </tr> <tr> <td>第4回 11/4(木) →会場開催</td> <td>第5回 1/6(木) →会場開催</td> <td>第6回 3/2(水) →オンライン開催</td> </tr> </table> <p>【ささえ合いシンポジウムの開催】</p> <p>元々はハイブリッド型での実施を予定していたが、新型コロナウイルス蔓延防止等重点措置の発令により、完全リモートで開催した。</p> <p>開催日時:R4年1/29(土)14:00~16:00、参加者:25名</p> <p>基調講演;できることから始める「ささえ合い」</p> <p>野中久美子氏(都健康長寿医療センター研究所)</p> <p>シンポジスト;松浦弘子氏(ボランティア東村山ふまねっと)</p> <p>原田隆信氏(つくし自治会)</p> <p>門脇裕子氏(富士見町子どもサロン)</p>			第1回 5/13(木) →書面開催	第2回 7/7(水) →会場開催	第3回 9/1(水) →ハイブリット開催	第4回 11/4(木) →会場開催	第5回 1/6(木) →会場開催	第6回 3/2(水) →オンライン開催
	第1回 5/13(木) →書面開催	第2回 7/7(水) →会場開催	第3回 9/1(水) →ハイブリット開催						
第4回 11/4(木) →会場開催	第5回 1/6(木) →会場開催	第6回 3/2(水) →オンライン開催							

	<p>【作業部会の開催】</p> <p>シンポジウムの開催にあたり作業部会を開催した。開催日時：10/1 12/1</p>
2021介護 予防大作戦 in 東村山	<p>昨年に引き続き、感染拡大防止策を講じながら、コロナ禍でも取り組める介護予防活動及び健康づくりについて話し合う場をもち、ウイズコロナ対策とアフターコロナを見据えながら、介護予防と健康づくりに関して、少人数でもできる活動を推進した。</p> <p>(1)各町で実施する介護予防と健康づくりに関する取組み</p> <p>各町において、コロナ禍での生活の変化等に関する情報交換、感染対策を徹底しながら取り組める介護予防についての意見交換等を行った。その結果、いくつかの町で介護予防に資する取組みにつながった(廻田町、栄町、萩山町、多摩湖町、青葉町)。</p> <p>(2)各町の活動を総括する中央大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年3月12日(土)14:00~16:00、オンライン(ZOOMによる)開催 ・参加者 ZOOM:20名 パブリックビューイング:23名 計43名 ・内容 <ol style="list-style-type: none"> 1. 講話(東村山市健康増進課) 2. 講演(東京都健康長寿医療センター) 3. レクタイム(日本体育大学桜華高等学校) 4. 地域開催報告(廻田・栄・萩山) <p>(3)事業の広報・周知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「かいごよぼう十一号」の発行 ・マッチングイベントパネル展への参加 3/1(火)~3/4(金)10:00~16:00 中央公民館展示室(1F)。 ・3/16(水)J-COMの「つながるニュース」にて中央大会オンライン開催の様子を放送。 ・2020介護予防大作戦で収録した「介護予防体操」を社協YOU TUBEに掲載。
地域資源や地域 ニーズの把握	<p>◇自立支援型地域ケア会議への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12/17 中部圏域の自立支援型ケア会議に参加(助言者) <p>◇まち担当職員と各圏域地域包括支援センターとの連携会議への参加</p> <p>市内5圏域の会議へ参加し、福祉協力員会や地域ネットワークの動きについて情報収集を行うとともに、地域課題や社会資源の把握に努めた(毎月各1回)。</p> <p>◇地域アセスメントの実施</p> <p>第2層生活支援コーディネーターや包括支援センターの相談員、社協のまち担当職員等とともに地域アセスメントを行った。</p>
情報発信ツールの 発行・活用	<p>住民活動の情報や介護予防や社会参加の重要性、生活支援体制整備事業等について住民にわかりやすく伝えるためのツールとして『のめっこい通信(生活支援コーディネーター通信)』を発行し、地域にはたらきかけていく際に活用した。(3号・4号)</p>

第2層生活支援 コーディネーター の活動支援	市・1層コーディネーター、2層コーディネーターが共通認識をもち、一定の基準で地域づくりをすすめるため、会議や研修会の開催、情報の集約等の側面的なサポートをおこなった。
◇生活支援コーディネーター会議の開催（毎月第3月曜日）	
開催日	4/19 5/17 6/21 7/19 8/16 9/27 10/18 11/15 12/20 1/17 2/21 3/28 （計12回開催）
検討内容等 （主なもの）	<ul style="list-style-type: none"> ・市全域、各圏域の目標の設定について ・地域アセスメントについて ・のめっこい通信の発行について ・各圏域の生活支援ニーズ調査、協議の場づくりの進捗状況について ・元気アップマップの発行について ・マッチングイベントパネル展の実施について ・生活支援コーディネーター研修会について ・自立支援型地域ケア会議の事例の再検討 ・介護予防事業の体操体験会について ・南部マッチングイベントについて ・緊急事態宣言明けのサロン継続・再開の支援について ・目標の達成状況（ニーズ調査等）について上半期の振り返り ・元気アッププロジェクトについて 等
◇1層・2層会議（作業部会）の開催（不定期開催）	
上記の生活支援 Co. 会議だけでは整理しきれない検討事項について、別途作業部会を設けた。（5/11：地域アセスメントの様式について）	
◇研修会の計画・実施	
生活支援コーディネーターのスキルアップを図るため、『ニーズ調査と地域アセスメントの活用』をテーマとした研修会を開催した。（10/18）	
◇2層生活支援コーディネーターへのヒアリング	
業務の推進上の課題や意見、今後の取組に向けての意向などを聞き取り、事業計画や推進の参考とした（各圏域1回）。また、今年度新たに2層生活支援コーディネーターとなった北部・東部圏域に対して事業のガイダンスを行った（6/3）。	
◇目標達成に向けてのサポート	
事業全体の目標を共有しつつ、2層コーディネーターが自身の目標を明確にして業務にあたり、振り返りを行えるよう促した。またその中で2層コーディネーターが業務の推進上抱える課題を把握するように努め、1層コーディネーターとしてのサポートを検討した。	

その他	東京都社会福祉協議会のヒアリングや各種研修会等で実践報告を行った。		
	月日	研修名	テーマ等
	6/28	令和 3 年度区市町村介護予防事業担当者向け研修	実践編Ⅱ 多様性・機能強化研修における実践報告
	7/21	令和 3 年度生活支援体制整備事業アドバイザー派遣ヒアリング等実施	生活支援体制整備事業に係る体制、実施状況に関するヒアリング
	9/17	令和 3 年度生活支援コーディネーター現任者研修Ⅰ	「協議の場づくりとネットワーキング」での実践報告（事前録画）
	第 1 層生活支援コーディネーターの資質向上のため研修会に参加した。		
	月日	研修名	テーマ等
	5/18	第 1 回生活支援体制整備事業に係る情報交換会	
	6/7 ～ 6/30	令和 3 年度地域福祉コーディネーター等養成研修（基礎編）	*動画視聴による受講 ①「地域福祉の動向と社協における地域福祉コーディネーターの意義と役割」 ②地域福祉コーディネーターの実践報告
	6/16 6/30	東京ホームタウンプロジェクト公開講座	①住民主体の地域づくりを促すためのコミュニケーションとは？ ②地域内で関係性をつくり、活動の継続力を高めるには？
1/31	はたらくサポート東京 実践報告会		
2/27	令和 3 年度地域福祉フォーラム 東京力×無限大		
2/28	第 2 回生活支援体制整備事業に係る情報交換会		

(4) 地域福祉活動団体の運営支援

項目	実績
助成金の交付	令和 3 年度の助成金を各団体に交付した。 ◇地域福祉活動助成（3 団体）115,000 円 ◇当事者団体助成（10 団体）368,600 円 ◇ふれあい・いきいきサロン運営費助成（47 団体）817,825 円 ◇福祉団体助成（4 団体）951,000 円
ふれあい・いきいきサロン数	◇ふれあい・いきいきサロン 56 団体 65 か所（高齢者、障害者、子育て、世代間交流サロン等）

サロン・スタッフ交流会等	○情報収集、情報提供を行い、サロン活動の動画・写真撮影の実施、ホームページ等での発信を行った。 ○サロンスタッフオンライン情報交換会の開催 12/10
--------------	--

(5) 障害者週間・福祉のつどい

項目	実績																																	
運営委員会	<p>有志による運営委員会だが、構成員の減少と固定化への対策として、有志の他番制での選任を打診し、新たに2団体が参加（計8団体）。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日にち</th> <th>内 容</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4/10</td> <td>今年度の開催について（役員会）</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>5/14</td> <td>今年度の実施体制、実行委員募集</td> <td>9名</td> </tr> <tr> <td>6/11</td> <td>運営委員会・実行委員会、実施内容について</td> <td>9名</td> </tr> <tr> <td>7/9</td> <td>実行委員募集、実施内容について</td> <td>10名</td> </tr> <tr> <td>8/6</td> <td>今年度の実施内容の検討</td> <td>10名</td> </tr> <tr> <td>9/10</td> <td>各企画内容実施計画書の検討</td> <td>10名</td> </tr> <tr> <td>10/8</td> <td>各企画内容の検討</td> <td>10名</td> </tr> <tr> <td>11/12</td> <td>実施内容の検討、役割分担等</td> <td>9名</td> </tr> <tr> <td>12/10</td> <td>今年度の実施報告、実行委員会に向けて</td> <td>8名</td> </tr> <tr> <td>2/18</td> <td>アンケート振り返り、次年度に向けて</td> <td>10名</td> </tr> </tbody> </table>	日にち	内 容	人数	4/10	今年度の開催について（役員会）	4名	5/14	今年度の実施体制、実行委員募集	9名	6/11	運営委員会・実行委員会、実施内容について	9名	7/9	実行委員募集、実施内容について	10名	8/6	今年度の実施内容の検討	10名	9/10	各企画内容実施計画書の検討	10名	10/8	各企画内容の検討	10名	11/12	実施内容の検討、役割分担等	9名	12/10	今年度の実施報告、実行委員会に向けて	8名	2/18	アンケート振り返り、次年度に向けて	10名
日にち	内 容	人数																																
4/10	今年度の開催について（役員会）	4名																																
5/14	今年度の実施体制、実行委員募集	9名																																
6/11	運営委員会・実行委員会、実施内容について	9名																																
7/9	実行委員募集、実施内容について	10名																																
8/6	今年度の実施内容の検討	10名																																
9/10	各企画内容実施計画書の検討	10名																																
10/8	各企画内容の検討	10名																																
11/12	実施内容の検討、役割分担等	9名																																
12/10	今年度の実施報告、実行委員会に向けて	8名																																
2/18	アンケート振り返り、次年度に向けて	10名																																
実行委員会	<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響から参加辞退もあったが、17団体・個人で実行委員会を組織することができた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>日にち</th> <th>内 容</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>7/15</td> <td>自己紹介、運営体制について、今年度の進め方について</td> <td>20名</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>8/19</td> <td>今年度の企画内容について、グループワーク</td> <td>14名</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>9/16</td> <td>各企画内容実施計画書の報告、今年度の実施内容の検討、グループワーク</td> <td>16名</td> </tr> <tr> <td>第4回</td> <td>10/21</td> <td>実施内容の検討、進捗状況の確認</td> <td>18名</td> </tr> <tr> <td>第5回</td> <td>11/18</td> <td>実施内容最終確認</td> <td>19名</td> </tr> <tr> <td>第6回</td> <td>12/17</td> <td>今年度の実施報告、振り返り</td> <td>13名</td> </tr> </tbody> </table>		日にち	内 容	人数	第1回	7/15	自己紹介、運営体制について、今年度の進め方について	20名	第2回	8/19	今年度の企画内容について、グループワーク	14名	第3回	9/16	各企画内容実施計画書の報告、今年度の実施内容の検討、グループワーク	16名	第4回	10/21	実施内容の検討、進捗状況の確認	18名	第5回	11/18	実施内容最終確認	19名	第6回	12/17	今年度の実施報告、振り返り	13名					
	日にち	内 容	人数																															
第1回	7/15	自己紹介、運営体制について、今年度の進め方について	20名																															
第2回	8/19	今年度の企画内容について、グループワーク	14名																															
第3回	9/16	各企画内容実施計画書の報告、今年度の実施内容の検討、グループワーク	16名																															
第4回	10/21	実施内容の検討、進捗状況の確認	18名																															
第5回	11/18	実施内容最終確認	19名																															
第6回	12/17	今年度の実施報告、振り返り	13名																															
実施内容	<p>◇展示即売会 つどいセットの販売（参加8施設）各施設からの販売（出店8施設） イトーヨーカドー東村山店：11/27.28、東村山市役所：11/29～12/3</p> <p>◇施設からの情報発信 冊子の作成：16施設・団体、動画（You Yube）の作成：6施設・団体、ツイッターの作成</p>																																	

2 標準服リユース事業

(1) 標準服リユース事業

項目	実績
募集と広報	福祉だより（7月、3月号）にて、標準服の寄付を呼びかけた。 寄付件数；55点／17世帯 また、二中PTAが保管していた標準服をPTAより多数譲り受けた。
標準服の譲渡	福祉だより（12月号）、関係機関を通じて、必要としている方へ案内した。 希望があった際は、在庫・サイズの確認、試着などを行い、譲渡した。 譲渡件数；92点／44世帯
保管と管理	寄付の標準服は登録を行い、専用のハンガーラックにて保管した。今後、保管場所、試着場所の確保が課題である。

3 ボランティアセンター

ボランティアセンター事業の推進

(1) ボランティア・市民活動相談

項目	実績
相談及び調整	①様々な相談を受け、解決に向けて社協組織内の各係や他機関と連携した。 ・新規ケース；14件（話し相手、買い物代行、ピアノを教える など） ・継続支援ケース；4件（代読、話し相手、囲碁の相手、外出付き添い など） ・要請者数；6名、要請件数；103件、活動者数（のべ）；49名 （ボランティアセンターを通して調整した件数） その他の相談；17件（保育園の送迎、若者の居場所等について、実習の相談、外国籍の方のボランティア相談、点訳、外出付き添い など） ②施設・団体からのボランティア相談及び調整を行った。 要請件数；16件、活動者数（のべ）；14名、活動団体数（のべ）；4団体 ③ボランティアグループ、NPO・市民活動団体の運営や活動に関する相談に応じた。
ボランティア登録	個人登録101名、グループ登録77団体（2, 215名）
ボランティア保険	保険加入者2, 708名（内、天災プラン加入者85名） ボランティア事故報告2件（社協会費集金中、及び定例会に向かう際のケガ）

(2) 連携・ネットワーク

項目	実績
ボランティアグループとの連携	①ボランティアグループ懇談会の開催 ・情報交換やネットワーク構築の場として月1回（第4土曜日午前）、ボランティアグループ懇談会を開催した。（感染対策のため基本的にハイブリッド開催） ・ボランティアグループ懇談会の活動の支援 情報誌「ボランティアグループ一覧」の作成（6月・120部）

	<ul style="list-style-type: none"> ・VSネットの実施（10月7日の千葉県北西部地震で実施） ・ボランティアまつりの代替イベントとして「ボランティア交流会」を完全オンライン型で開催した。10月24日（日）10:00～12:00 ・公開講座の実施 <ul style="list-style-type: none"> 「災害発生！その時私たちは？！」（11/27）講師；蓑田圭二氏 「コロナ禍の詐欺について」（1/22）講師；東村山警察署員 ・完全オンライン型の「ボランティア交流会」を2月にも開催した。ボランティアグループの活動発表の他、オンライン上での懇談も取り入れ、交流を深めた。2月26日（土）13:30～16:00 <p>②グッドフェローズの支援</p> <p>定例会（第4金曜日午後）や、子ども達が安心して過ごせる居場所「ぐっどすぺーす」（第1土曜日午後、場所：ふれあい工房、またはふれあいスペースいっぷく）に参加し、活動を支援した。</p>
他社協との連携	<p>①都及び区市町村ボランティアセンターとの連携及び北多摩北部ブロック（武蔵野市、小平市、清瀬市、西東京市、東久留米市、東村山市）の連絡会にオンラインで参加し、コロナ禍における事業運営等について情報交換を行った。また、今年度は東京都・東村山市合同総合防災訓練が開催されることから、ブロック内ボランティアセンターとアクションプラン推進会議のメンバーでプロジェクトを立ち上げ、防災まち歩きの企画立案を行った。</p> <p>※東京都・東村山市合同総合防災訓練の中止が決定した。（8月23日）</p> <p>※プロジェクトメンバーで防災まち歩きを引き続き企画実施することが決まり、令和4年5月15日の開催に向け会議を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北多摩北部ブロックボランティア担当者連絡会（5月12日、6月15日、9月3日、12月21日、3月22日） ・防災まち歩きプロジェクト会議（7月6日、8月3日、9月28日、12月16日、3月18日） ・区市町村ボランティア・市民活動推進担当者会議（7月28日、10月15日、1月20日） ・区市町村ボランティア・市民活動センター長会議（6月17日、9月2日、12月9日、2月15日） <p>②東京ボランティア・市民活動センターからの打診を受け、中間支援組織のマネジメントを目的とした「支援力アップ塾」の企画メイトとして参加し、講座の企画・準備を行った。（4月30日、5月11日、5月25日）</p>
会議等への参加	<p>①ささえ合い活動推進会議</p> <p>高齢者の支え合いが生まれる仕組みづくりについて検討する会議に参加。（5月13日※中止のため書面開催、7月7日、9月1日、11月4日、1月6日、3月2日）</p> <p>ささえ合いシンポジウム1月29日（土）13:30～15:30</p> <p>②子育て総合支援センター運営協議会（ころころの森）</p> <p>ころころの森の事業や運営について把握し、協議する会議に参加。</p>

	(7月6日、3月4日※書面開催)
--	------------------

(3) 情報の収集・提供（発展計画関連事業）

項 目	実 績
情報の収集と提供	①毎月1回ボランティアネットを発行した。 ②ボランティア活動情報を収集し、提供した。 ③福祉だより（社協広報紙）に、ボランティアセンター関連情報を掲載した。 ④ボランティアセンターのホームページが社協ホームページと合併したため、ボランティアセンターの情報をより細やかに伝えるため仮設ホームページを設置、運営した。 ⑤ボランティアセンターツイッターアカウントを新設し、情報発信を行った。 ⑥フェイスブックについては、子ども協力員をレポーターにした取り組みや動画を取り入れるなどの工夫を行った。 ⑦社協掲示板を活用して、ボランティア活動等の情報発信を行った。 ⑧登録ボランティアに対して、ボランティア関連講座・イベント等の情報提供を個別に行った。

(4) ボランティア活動推進委員会の開催

項 目	実 績
委員会の開催	①ボランティア活動推進委員会を開催した。 第1回；6月28日（月） ※万一の感染リスクを考慮してハイブリッド型で開催 第2回；11月12日（金）市民センター 第3回；2月は新型コロナ感染拡大を受け書面開催 ②ボランティア活動推進委員会のほかに、次の小委員会を開催した。 ※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、中止や書面会議の月もあり 1) ボランティア需給調整委員会 毎月第2・4木曜日 計11回開催 2) ボランティアネット編集委員会 毎月第1金曜日 計6回開催

(5) 災害ボランティアセンター（発展計画関連事業）及び災害支援活動

項 目	実 績
災害ボランティアセンター設置・運営訓練など	①社協災害プロジェクト会議において、災害ボランティアセンター立ち上げ訓練や災害時優先業務（BCP）改訂版、普通救命講習会、被災自治体との災害事務に関する委託契約等、今年度の取り組み事項を役割分担し、プロジェクト会議で進捗状況を確認しながら進めた。普通救命講習会については、新型コロナ感染拡大を受け中止し次年度に延期した。また、災害ボランティアセンター立ち上げ訓練については座学研修で開催した。 ・プロジェクト会議 7月2日、11月24日、1月24日、3月11日

	<p>・研修「どこまで知ってる?東村山の災害リスク 伝えよう!日頃の備え」 3月15日(火) 15:30~17:00</p> <p>②東村山災害スタボラ会の定例会(毎月第4金曜日の午後)に参加し、情報共有や活動支援を行った。※1月28日は感染拡大のため中止。 また、「東村山災害まるわかりガイド」作成に向け、作業部会を設け検討をはじめた。(12月9日)</p> <p>③東京都・東村山市合同総合防災訓練への参加に向け、ブロック内ボランティアセンターとアクションプラン推進会議のメンバーで「防災まち歩き」の準備を進めていたが訓練が中止となった。次年度の実施に向けて、継続して企画・準備を進めていく。(再掲)</p>
災害支援活動	<p>大規模災害の発生により共同募金会で義援金の募集が行われた場合に、募金活動への協力を呼びかけた。</p> <p>・令和3年7月大雨災害静岡県義援金(静岡県共同募金会へ)</p>

4 福祉教育活動の推進

(1) 青少年へのボランティア・福祉教育の推進(発展計画関連事業)

項 目	実 績
福祉学習の相談 ・調整・支援	<p>学校やボランティアグループ等と連携を図り、福祉教育の推進を行う。</p> <p>※新型コロナウイルス感染症予防対策を講じ、新たな取り組み内容をボランティアと共に検討した。</p> <p>◇支援校数：11校(学年別に集計、対象は小学校)</p> <p>◇実施回数：29回(学校との打ち合わせ回数を含む)</p> <p>※相談回数は除く</p> <p>※1月末(1回)、まん延防止等重点措置により中止。</p> <p>◇主な支援内容：福祉学習(車いす体験・アイマスク体験・高齢者疑似体験・障害当事者による講話)、取り組み内容の相談・アドバイス、講師派遣・調整、機器等貸出など。</p> <p>◇ボランティアグループ等の協力：福祉さんき会、さつき294、視覚障害者友の会、車いす利用者。</p> <p>◇ゲストティーチャー交流会 福祉学習の振り返りや、ゲストティーチャー、教員との情報交換を行った。 3月31日(木) 10:00~11:30、参加者；8名</p>
夏体験ボランティア事業	<p>企画に先駆け、福祉施設や団体を対象に、受け入れに関するアンケートを行った。そのうち、「協力可」と回答のあった福祉施設や団体と受け入れについて調整し、実施した。また、緊急事態宣言下により参加者へ感染症対策の注意喚起を重ねて行い、参加者に活動日前後2週間の健康観察を徹底した。</p> <p>◇活動期間：①8月2日~31日 ②12月27日~1月7日</p> <p>◇申込み：23名(小学生4名、中学生16名、高校生2名、大学生1名)</p>

	<p>うち、実際に活動した参加者は17名</p> <p>※定員30名のところ、40名の応募があった。その後、感染者数の急増を受け、辞退（キャンセル）を受け付けた。</p> <p>※8月は感染者の急増により、保育園での活動を中止した。感染状況が落ち着いた冬休みに活動できるよう再度調整し、4名が参加した。</p> <p>◇オリエンテーション：感染対策として、オリエンテーション動画を作成し、参加者には事前に視聴してもらった上で後日個別対応を行った。</p> <p>（7月13日～17日）</p> <p>◇活動メニュー：保育園にて子どもの遊び相手、切手やベルマークの整理、募金箱作成、サロンにて残暑見舞い作成、メッセージ（暑中見舞い）のお届け、動画による特技発表とオンラインでの交流など、計8プログラム。</p> <p>◇振り返り</p> <p>活動に職員が同行し、振り返りを行った。感想文の提出。小・中学生には子ども協力員（ボラチル）の案内をしたところ、3名（小学生1名、中学生2名）が登録し、夏休み以降も活動中。</p> <p>◇協力団体：10団体</p>
<p>福祉のお仕事座談会「おためしふくし塾」</p>	<p>例年、福祉の仕事の魅力を発信することを目的として、福祉の「職場体験」と福祉の仕事をテーマにした「座談会」をセットで行っているが、福祉施設での職場体験が難しい状況だったため、今年度は福祉施設の職員との座談会を行った。</p> <p>◇日時：8月31日（火）13：30～15：00</p> <p>◇参加者：5名（大学生2名、実習生3名）</p> <p>◇協力団体：青葉の杜、東村山子育て支援ネットワークすずめ、村山荘、社会福祉協議会（包括支援センター、まちづくり推進課）</p>

(2) 担い手の育成(発展計画関連事業)

項 目	実 績
<p>ゆるボラ講座</p>	<p>①傾聴ボランティア講座 3月24日（木）14：00～16：00</p> <p>長引くコロナ禍で、人と人とのつながりがとても希薄になっている現状を受け、相手の気持ちに寄り添いながら話を「聴く」ことについて学び、これからの活動に活かしていくきっかけの場となることを目指して開催した。</p> <p>参加申込者；26名（うち1名はオンライン参加）</p> <p>講師；山田豊吉氏（NPO 日本傾聴ボランティア協会）</p> <p>②手話体験 3月26日（土）13：30～15：30</p> <p>ボランティアへの参加のきっかけとなるよう、また、子どもから大人まで楽しく手話を学ぶ場として開催。</p> <p>参加者；11名（うち小学生4名）</p> <p>協力；東村山市聴覚障害者協会、東村山手話サークルしおり、東村山手話サークル</p>

オンライン おためし講座	主に高齢者に向け、LINE と Zoom の基本的な使い方をレクチャーする講座を実施した。 ふれあい工房（美住） 10月28日（木）、11月25日（木） ケアセンターふれあい（秋津） 12月14日（火）、23日（木） 社会福祉センター 1月18日（火）、 1月27日（木）※中止 いっぷく 2月15日（火）、17日（木）※中止 縁開く庭百才 3月15日（火）※中止 、29日（火） 参加者（計）；51名
防災力アップ 講座	地域防災力の向上を目的とした、「あなたの力が東村山を救う 防災力アップ講座」を全6回の連続講座で開催した。（※再掲） 開催期間；5月22日（土）～7月24日（土） ※緊急事態宣言のため、全6回中4回のプログラムを完全オンライン型に変更して開催。普通救命講習会は延期して開催した。 参加申込者；41名（全6回プログラムへの延べ参加者数110名） 全回受講者；4名 講師：蓑田圭二氏、東村山災害スタボラ会、東村山消防署員、東村山市防災防犯課職員、地域防災団体、他

（3）新型コロナ禍における取り組み

項目	実績
情報の収集と提供	◇緊急事態宣言期間中（4/16～5/8）、ボランティアの受け入れ状況や受け入れ再開に向けて施設・団体が抱えている課題や必要な手立て、今後の要望について、アンケート調査を実施した。 ・配布団体数 73 団体 ・回答団体 39 団体
ボランティアセンター発！施設応援企画 ①暑中見舞い・残暑見舞いプロジェクト ②消毒用雑巾づくりプロジェクト（第1弾・第2弾） ③年賀状プロジェクト	上記、ボランティアの受け入れに関するアンケートの集計結果から伺えた福祉施設の利用者・入所者の方々の現状や課題を受け、ボランティアセンター発！施設応援企画として2つのプロジェクトを実施した。施設・団体からの喜びの声を受け、11月から1月にかけて第2弾を実施した。 ①暑中見舞い・残暑見舞いプロジェクト 個人ボランティアやボランティアグループ、学校等から寄せられたハガキを冊子にまとめ、施設・団体にお届けした。 ・暑中見舞いプロジェクト（募集期間；6/14～7/31） 応募数 37 枚 ・残暑見舞いプロジェクト（ ” ；8/1～8/14） 応募数 116 枚 ②消毒用雑巾づくりプロジェクト（募集期間；6/14～8/31、11/22～1/31） 個人ボランティアやボランティアグループ、福祉協力員会等から寄せられた雑巾や足ふきマットを、必要とする施設にお届けした。 （第1弾 6/14～8/31） ・消毒用雑巾 お届け数 539 枚 ・足ふきマット お届け数 112 枚 （第2弾 11/22～1/31） ・消毒用雑巾 お届け数 246 枚

	<p>③年賀状プロジェクト</p> <p>個人ボランティアやボランティアグループ、学校等から寄せられたハガキを冊子にまとめ、施設・団体にお届けした。また、ハガキを扇型にデザインして、1月中社協事務所の通路天井に展示した。</p> <p>・年賀状プロジェクト（募集期間；11/22～1/31） 応募数 135枚</p>
--	--

5 高齢者生きがい事業

(1) 高齢者生きがい対策事業

項 目	実 績									
いきいきサロン 萩山の運営	利用登録者数；36名（令和4年3月末現在）									
	新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月末より活動休止し6月末より再開。人数制限、感染防止に留意しながら実施。休止期間中は電話連絡や自宅で取り組める資料配布、手紙の発送を行った。									
	①利用延人数									
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期 合計		
	男性	15	0	4	16	16	18	69		
	女性	136	0	29	135	113	151	564		
	合計	151	0	33	151	129	169	633		
	新規	0	0	0	0	1	1	2		
	退会	0	0	0	0	0	0	0		
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期 合計	年度 合計	
	男性	21	23	21	21	20	21	127	196	
	女性	153	154	137	125	112	150	831	1395	
	合計	174	177	158	146	132	171	958	1591	
	新規	1	0	0	0	0	1	2	4	
退会	2	1	3	0	2	0	8	8		
	② スタッフ月例ミーティング（月1回）※5～7月は書面对応 利用者の状況や対応の申し送り、活動内容の検討									
	③ バス研修、クリスマス会、講座 中止									
憩いの家利用者 サービス事業	<p>① 児童館との交流事業・季節のつどい</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年の集う形での交流は中止。憩いの家利用者と児童双方で8月～1月に季節にちなんで集めたメッセージやイラスト、写真を模造紙に貼り付け、掲示する形等で交流をはかった。</p> <p>② 集いと交流の日</p> <p>火曜日(久米川・廻田)、木曜日(萩山・富士見)の循環バス運行日を「集いと交流の日」とし、カラオケなど気軽に参加できるプログラムを実施していたが、新型</p>									

	<p>コロナウイルス感染拡大防止のため、ぬりえ等に変更して実施し、10月からは軽体操も実施した。</p>
<p>高齢者生きがい講座</p>	<p>初心者カメラ入門 愛好家田代さんと始めるカメラライフ スマホ、デジカメの上手な写真の撮り方を学ぶ初心者対象講座。構図やぼかし方などの具体的な方法や生涯を通じて楽しめる、写真・カメラのお話し。 日時：3月22日、会場：社協・地域福祉活動室 講師：田代雅靖氏、受講者：19名</p>

(2) 敬老福祉啓発事業

<p>長寿を共に祝う会</p>	<p>昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から高齢者や福祉協力員の健康・安全面を考慮し、従来の各町福祉協力員会による実施形式（会の開催又は記念品手配り）を中止。お祝いの気持ちを表す形として、お祝い文、記念品を対象者全員へ郵送した。</p> <p>①関係者会議の開催 (第1回) 日時；5/28(金) 緊急事態宣言延長で6/8に延期するが、同宣言再延長のため書面開催とする。 内容；令和3年度の実施について (お祝い文、記念品、予算、スケジュール他) (第2回) 日時；11/26(金) 内容；令和3年度実施報告、今後の方針</p> <p>②実施内容 市内に住所を有する、7月31日時点で満80歳以上となる在宅高齢者を対象として、敬老の日(9/20)時点で市内に住民票を有する方13,253名に9月末から発送。(1)記念品(扇子) (2)主催者(市・社協)お祝い文 (3)各町福祉協力員会お祝い文 (4)新型コロナウイルス注意喚起チラシ (5)各町福祉協力員会等からのお知らせを郵送した。 発送後、福祉協力員会からのお祝い状本文に誤りを発見(多摩湖町582名分)、お詫びと差し替え文を係職員でポスティングした。</p> <p>③「高齢者への手紙」(米寿のお祝い) 小学生から米寿の方へのお手紙を添えて、祝い品の封詰め作業を行った。 ・4月；教育部教育総務係を通じて、校長会に依頼文を提出。 ・5月；各校へ用紙を配布。 ・7月中；手紙の回収と検読作業。 ・9月；封入・封緘作業。</p>
-----------------	--

6 健康長寿のまちづくり推進室事業

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月25日～6月20日まで使用休止。

多目的講座室利用状況（延べ件数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
市老連	15	2	5	9	3	15	16	9	9	9	10	19	121
高齢者団体	7	0	6	6	8	7	8	8	8	17	17	10	102
福祉団体 他	1	0	0	2	1	1	2	1	1	1	13	0	23
市	11	0	0	1	7	2	4	2	4	9	6	9	55
計	34	2	11	18	19	25	30	20	22	36	46	38	301

7 老人クラブ等助成事務及び育成相談事業

項目	実績																																										
補助金申請援助	<p>市老連事務局は、書類提出時点で軽微な誤りや書類不足等の点検を行い、社協と市健康増進課にて内容検査を実施した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため単位クラブとの面談は行わず、電話によるヒアリングに変更した。書類等の修正を行ったうえで、補助金申請及び実績報告書を社協より市健康増進課へ提出した。</p> <p><令和3年度東村山市老人クラブ補助金申請書及び令和2年度実績報告></p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告書の受付及びチェック；4月5日（月）～9日（金） ・補助金申請面談；4月19日（月）～23日（金） ・補助金支出；6月 																																										
老人クラブの育成・相談	<p>補助金対象会員数は1,880名で、前年度（2,156名）比較276名減であった。市外や重複入会も含む老人クラブ加入総数は1,906名、昨年（2,197名）比較で291名減（入会73人、退会364人、退会内訳：転出8名、逝去55名、他156名、解散145名）。解散4クラブ。</p> <p>◇令和3年4月26日現在、老人クラブ数；33クラブ 会員数；1,880名</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>町名</th> <th>本町</th> <th>久米川</th> <th>秋津</th> <th>青葉</th> <th>恩多</th> <th>萩山</th> <th>栄</th> <th>富士見</th> <th>美住</th> <th>廻田</th> <th>多摩湖</th> <th>諏訪</th> <th>野口</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クラブ数</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>会員数</td> <td>0</td> <td>301</td> <td>82</td> <td>138</td> <td>83</td> <td>143</td> <td>343</td> <td>200</td> <td>75</td> <td>113</td> <td>109</td> <td>162</td> <td>131</td> </tr> </tbody> </table>	町名	本町	久米川	秋津	青葉	恩多	萩山	栄	富士見	美住	廻田	多摩湖	諏訪	野口	クラブ数	0	5	1	2	2	3	6	5	2	2	1	2	2	会員数	0	301	82	138	83	143	343	200	75	113	109	162	131
町名	本町	久米川	秋津	青葉	恩多	萩山	栄	富士見	美住	廻田	多摩湖	諏訪	野口																														
クラブ数	0	5	1	2	2	3	6	5	2	2	1	2	2																														
会員数	0	301	82	138	83	143	343	200	75	113	109	162	131																														

連合会事務局の運営及び活動支援

◇事務所及び談話室来訪者数を計測した。(件)

	①老人クラブ 会員 (人)	②会員外高 齢者 (人)	③職員他 (人)	④談話室 利用 (人)	⑤電話外 線 (本)	⑥電話内 線 (本)	対応 合計
合 計	1,977	488	852	328	2,050	1,013	6,708
月平均	165	41	71	27	171	84	559
日平均	8	2	4	1	9	4	28

※①②③は、いきいきプラザ 4 階市老連事務室来訪者数。

④は、いきいきプラザ 4 階健康長寿のまちづくり推進室談話室利用者数。

⑤⑥は、市老連事務所電話対応数。(推進室電話対応数は未調査)

◇令和 3 年度市老連活動実績

活動項目	主な活動	回数	人数
1、社会奉仕活動	総務部会活動	2	16
	産業まつり (コロナウィルス対策で中止)		
	友愛活動 (コロナウィルス対策で中止)		
2、健康づくり活動	厚生部会活動 3 回	16	548
	健康体操教室 6 回		
	心の健康他講習会 0 回		
	レクダンス講習 4 回		
	グランドゴルフ大会 1 回		
	運動会打合せ (コロナウィルス対策で中止)		
	輪投げ大会 2 回		
3、生きがいを高める活動	文化部会活 10 回	31	1,260
	芸能文化祭・コンサート/作品展 2 回		
	女性部会活動 7 回		
	広報部会活動 9 回		
	手芸教室 3 回		
	チャリティカラオケ (コロナウィルス対策で中止)		
4、その他の社会活動	都老人クラブ連合会行事他 11 回	29	412
	市老連会長会 5 回		
	役員会 6 回		
	地区協議会活動 5 回		
	社協理事会ほか 1 回		
	監査・会計等事務 1 回		
5、その他	会員旅行等	1	81
合 計		79	2,317

II 相談事業

1 総合相談事業（発展・強化計画関連事業）

係を横断した「総合相談チーム」を編成し、市民からのあらゆる相談に対して必要に応じて福祉サービス等の情報を提供するとともに、相談内容により社協他事業や関係機関等に繋げ支援を行った。特定の事業や機関につなぐことがない相談に関しては、総合相談チームとして継続的な支援を行った。

また、総合相談チーム会議において、受理した相談の分析を行った。

(1) 相談実績

①月別の電話相談、来所、連絡調整等の延べ件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
7	8	2	6	14	8	5	8	9	36	4	13	120

②新規、継続相談件数

①新規相談者	38	
新規相談の対応結果	継続相談	6
	初回相談のみ	32
②前年度からの継続相談者	2	

※「初回相談のみ」は、「相談を受ける→情報提供した」という1往復のやりとりで終了したものの。情報提供等したのち、さらに相談等が続いたものを継続相談としている。

- ・新規相談件数は昨年度より少なかった。
- ・長期の継続ケースとして、中高年層のセルフネグレクトや近隣トラブルなどの相談を受けている。

③対応方法（延べ件数）

来所相談	20
電話相談	28
家庭訪問	18
電話訪問	8
ケース連絡	39
ケース引継ぎ	3
その他	4
合計	120

- ・来所相談、電話相談の件数が共に増加し、継続ケースの支援もあり、延べ支援数は大幅に増えた。

④相談内容（延べ件数）

1. 病気や健康、障がいについて	22
2. 住まいについて	12
3. 収入・生活費について	26
4. 家賃やローンの支払いについて	0
5. 税金や公共料金の支払い	5
6. 債務について	0
7. 仕事探し、就職について	0
8. 仕事上の不安やトラブル	0
9. 地域との関係について	15
10. 家族との関係について	11
11. 子育てについて	12
12. 介護について	5
13. ひきこもり・不登校について	0
14. DV・虐待について	3
15. 食べるものがない	7
16. その他	48
合計	166

- ・収入や生活費に関する相談、病気や障がいに関する相談が多かった。
- ・多分野にわたる課題を重複して抱えている方の相談が目立った。
- ・事業の特性上幅広い相談を受けているが、ペットの相談や自身の身元引受人（身元保証制度）の相談など、「その他」に分類せざるを得ない相談が多く、分類のあり方が課題となった。

(2) 相談対応の検証を行い、地域課題を探る

①チームミーティングの開催

毎月第1木曜日10：30～定例開催とし、計11回開催した。

- ・運営体制の検討、他係との連携等について協議した。
- ・ミーティング以外にも、ケースカンファレンスや社内メールにてケース検討や情報共有をはかった。

(3) 内部研修の企画・実施

①総合相談の意義・大切さについて

②事例検討

上記2回の研修を企画したが、新型コロナウイルス感染症の影響をうけ、中止とした。

2 生活福祉資金貸付事業

低所得者、障がい者もしくは高齢者のいる世帯の生活の安定と経済的自立を図るため、資金の貸付と必要な相談支援を行った。また、新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業で生活資金にお困りの方への緊急小口資金・総合支援資金の特例貸付を継続した。（東社協受託事業）

(1) 貸付相談

(2) 償還相談

①貸付・償還等相談件数（項目重複あり、来所・電話相談等、延べ件数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
福祉費	11	6	23	6	18	15	6	12	12	7	6	7	129
教育支援資金	28	14	20	8	48	45	67	72	82	53	53	99	589
緊急小口資金	2	10	0	2	1	2	0	1	1	2	2	0	23
総合支援資金・ 離職者支援資金	2	25	1	1	2	0	0	0	2	4	2	3	42
不動産・要保護 不動産担保型 生活資金	0	0	2	0	2	0	5	2	3	0	2	0	16

②貸付実績報告（辞退含まず） ※貸付決定 22 件（新型コロナ特例貸付を除く）

資金種類			貸付決定 件数	貸付決定金額	
生活福祉資金	福祉資金	福祉費 ※	障害者用自動車の購入に必要な経費	1 件	2,084,000 円
			住居の移転等に必要な経費	1 件	263,000 円
			生活保護受給者の国民年金の任意加入により納める保険料の経費	2 件	519,260 円
			生活保護受給世帯の生活必需品等の購入に必要な費用	0 件	0 円
			技能習得に必要な経費	0 件	0 円
	緊急小口資金			0 件	0 円
	教育支援資金	教育支援費		18 件	20,309,000 円
		就学支度費		6 件	1,310,000 円
	総合支援資金	生活支援費	生活再建までの生活費用 (12ヶ月以内)	0 件	0 円
		住宅入居費	敷金・礼金等住宅の賃貸契約を結ぶ 為に必要な費用	0 件	0 円
		一時生活再建費	生活再建の為に一時的に必要な費用	0 件	0 円
	不動産担保型生活資金	不動産担保型生活資金		0 件	0 円
		要保護世帯向け不動産担保型生活資金		0 件	0 円
臨時特例つなぎ資金		住居のない離職者が公的給付・ 貸付を受けるまでの生活費	0 件	0 円	

※福祉資金・福祉費は貸付実績のある資金種類のみを掲載。

③債権管理

償還促進のため、東京都社会福祉協議会からの発行帳票を送付する際などに電話訪問を適宜行い、償還状況を確認しながら救済制度の適用を図った。

④救済制度 計 4 件

貸付対象の世帯は様々な生活上の課題を抱えており、借受世帯の安定や自立促進のために、償還猶予や延滞利子免除の適用検討・手続きを行った。また、償還が見込めず適格要件を満たす世帯について償還免除の検討を行った。

償還猶予	延滞利子免除	償還免除
3 件	0 件	1 件

⑤関係機関との連携強化

◇民生委員・児童委員協議会

合同及び地区定例会が新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったため、必要に応じて民生委員と個別に連絡をとり、新規申込世帯の面談依頼や貸付中世帯の情報共有を行った。また、民生委員による生活福祉資金借受世帯への支援状況を確認するため例年は地区会長 5 名による支援記録票の点検を行っているが、昨年に引き続き実施を見送った。

◇自立相談課・ほっとシティ東村山

相談の調整をスムーズに図ることができるよう、市役所自立相談課、ほっとシティ東村山（自立相談支援機関）と適宜ケース連絡・情報交換を行った。

◇その他

新たな住宅セーフティネット法の施行により、住宅確保用配慮者に対する賃貸住宅の供給が円滑に進められるよう自治体に努力義務が課されていることから、連携支援に向けて関係各所と各制度の内容確認や情報共有を行った。

日にち	相手先
令和 3 年 7 月 28 (水)	地域福祉推進課、都市計画課、自立相談課、こども保健・給付課

⑥会議、研修

各種会議については感染症拡大予防のため中止となった。東社協の新任研修、相談支援研修については、今年度対象職員がいなかった。

(3) 新型コロナウイルス感染症に係る特例貸付相談及び申請

新型コロナウイルス感染症に係る特例貸付では、令和 2 年 3 月 25 日の受付開始以来、感染拡大の影響で生活費が不足する様々な世帯からの相談・申請に対応してきた。都内の感染者が増加傾向となるにつれ、新型コロナウイルス感染症罹患患者あるいは濃厚接触者となったために仕事ができず減収した世帯からの相談が増加した。

また、特例貸付をすべて利用してもなお収入回復に至らない世帯を対象に、令和 3 年 7 月より、市役所自立相談課を窓口として「新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金」の受付が開始された（支給月額が単身世帯 6 万円、2 人世帯 8 万円、3 人以上世帯 10 万円。支給期間 3 カ月以内）。利用には一定の要件があり、それに当てはまらず利用できない世帯については、ほっとシティ東村山と連携しながら個別に相談対応を行った。

① 貸付相談（来所・電話相談等、延べ件数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
緊急小口資金	108	134	162	144	78	90	82	94	22	30	54	66	1064
総合支援資金	82	116	142	128	154	96	74	96	28	26	32	54	1028
総合支援資金延長貸付	92	152	358	-	-	-	-	-	-	-	-	-	602
総合支援資金再貸付	94	72	96	136	244	316	156	158	98	-	-	-	1370

②貸付実績報告（辞退含まず）合計

資金種類		貸付決定件数	貸付決定金額
コロナ特例貸付	緊急小口資金 ※ (1)	532 件	105,710,000 円
	総合支援資金 (2)	690 件	358,360,000 円
	総合支援資金延長 (3)	342 件	180,310,000 円
	総合支援資金再貸付 (4)	884 件	466,600,000 円

※緊急小口資金は申請受付件数・金額を記載

種類別内容

- (1)・・・新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業等による収入の減少があり、緊急かつ一時的な生計維持のための貸付を必要とする世帯への貸付。（上限 20 万円）
- (2)・・・新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入の減少や失業等により困窮し、日常生活の維持が困難になっている世帯への貸付。
（2人以上世帯月額 20 万円、単身月額 15 万円以内 貸付期間 3 か月以内）
- (3)・・・総合支援資金の初回貸付を受けたが、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響による減収や失業等により日常生活の維持が困難となっている世帯への貸付。令和 3 年 6 月をもって受付を終了。
（2人以上世帯月額 20 万円、単身月額 15 万円以内 貸付期間 3 か月以内）
- (4)・・・令和 3 年 1 2 月までに (1) 及び (2)、または (2) のみの貸付が終了している世帯、あるいはそれらに加えて (3) の貸付も終了している世帯への貸付。令和 3 年 2 月 1 9 日より受付開始し、令和 3 年 1 2 月をもって受付を終了。
（2人以上世帯月額 20 万円、単身月額 15 万円以内 貸付期間 3 か月以内）

(4) 生活困窮世帯への支援（ぽんたマーケットの開催）

①ひとり親世帯対象

新型コロナウイルス感染症に係る特例貸付を利用している生活にお困りの 20 歳以下のお子さんがあるひとり親世帯を対象に、社会福祉協議会に届いた地域の皆さんからのご寄付や企業からの支援物資を用いて「ぽんたマーケット（無償提供マーケット）」と題し、8 月と 1 2 月に開催した。

スーパーマーケットの要領で、日用品、食料品等計30点まで無料で持ち帰りできる仕組み。

第1回目は、対象約100世帯に案内し、23世帯が申込。当日は、天候が悪く、実際に来場したのは19世帯だった。

第2回目は、地域福祉センターが空調工事のため使用できなかったため、食料品等を配達形式で届けるマーケットを開催した。対象約140世帯に案内し、68世帯が申込。12/17～19の3日間で配達した。

また、東京東村山ロータリークラブと社協会員店舗である不二家久米川店の協力でホールケーキの引き換え券を封入し、大変喜ばれた。(ケーキ引き換え43世帯)

事後アンケート結果から、食料支援の必要性や子どもの学費の不安などのニーズもわかり、今後も機会があればこのようなマーケットの開催や学費に関する講座など引き続きの支援を実施していきたい。

②生活にお困りの世帯対象

第3回目のマーケットは、市内在住で生活にお困りの方を対象に3月30日に開催。

30世帯が参加した。今回は、市内社会福祉法人連絡会のフードドライブ事業とタイアップし、各施設からも多くの食糧品が届けられた。反省点として広報期間が短くなってしまったため、広く情報を届けることができなかった。今後は、しっかりと周知できるよう検討していきたい。

3 ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業

母子父子家庭高等職業訓練促進給付金を活用して養成機関に在学、資格取得を目指すひとり親家庭の親を対象とし、入学準備金・就職準備金を貸し付ける。地区社協は申込書・借用書の收受、送付業務を行う。(東社協受託事業)

相談件数	入学準備金	就職準備金
1件	0件	0件

4 応急小口資金貸付事業

低所得世帯が不測の事態により、緊急かつ一時的に生活資金が必要になった際に貸付を行った。また、ほっとシティ東村山による自立相談支援利用者に関しては柔軟に対応した。未償還者に対しては個別に連絡を試み、反応のない世帯には督促状を発行した。(社協独自事業)

①貸付・償還件数及び金額

(件数及び金額は延べの数字)

貸付件数	貸付金額	償還件数	償還金額
89件	406,696円	95件	903,623円

※前年度以前の貸付金の償還も含む。

②相談経路

生活福祉課	14 件
自立相談課	10 件
市役所（上記以外）	1 件
ほっとシティ	18 件
以前貸付利用	38 件
他資金相談	3 件
基幹相談支援センター	1 件
その他	4 件
合計	89 件

③世帯状況

生活保護申請中	15 件
生活保護受給中	27 件
就労中	25 件
老齢年金受給中	8 件
無職	12 件
その他	2 件
合計	89 件

④運営委員会

運営委員：5 名（社協理事）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面評決とした。

表決日	内容
令和 3 年 8 月 13（金）	令和 2 年度事業報告、償還免除について

5 中部地域包括支援センター（基幹型）

（1）地域型地域包括支援センターの統括

項 目	実 績
各地域型包括支援センターの統括	ひきつづき新型コロナウイルス感染症やワクチン接種に関する対応等について、市所管との協議や各包括への伝達を実施した。 予防支援や介護予防ケアマネジメントに関すること、虐待対応についての平準化についての支援を行った。
保険者・地域型地域包括支援センターとの会議体の企画・運営	定例協議 1 2 回 実務リーダー会議 1 1 回 虐待対応・関係機関連携強化会議 8 回

（2）介護予防・生活支援体制整備事業の支援

項 目	実 績
生活支援コーディネーターの活動支援	・市所管との定例協議 1 0 回 ・生活支援 CO 会議 1 2 回 ・第一層協議体関係 4 回 ・各地域型包括支援センターと社会福祉協議会まちづくり支援係との連携会議に参加 ・介護予防大作戦関係 1 1 回

	第一層生活支援COと一緒に動きながら、生活支援CO業務に生かせるように他の包括業務の進捗を伝えていった。
自立支援型地域ケア会議の開催支援	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援型地域ケア会議 5回 <p>昨年度より、各包括で実施されている自立支援型地域ケア会議で得られた課題をまとめ、令和4年度にその課題をもとに新たな自立支援型地域ケア会議のテーマや、業務に生かせるよう各会議体で話し合う素材を作成した。</p>

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援

項目	実績
介護保険事業者連絡会の支援	<ul style="list-style-type: none"> ○居宅介護支援事業者連絡会（会員事業所50カ所） 総会（4/16 ZOOM） 役員会11回 研修会3回 ・主任介護支援専門員部会（ケアプラン点検担当・研修企画担当・制度業務担当）の運営支援（ZOOM総会、打ち合わせなど12回） ・ケアプラン点検支援（6月、10月） ○訪問介護事業者連絡会（会員事業所29カ所） 総会（書面）：4/12 役員会 10回：Zoom 開催 サービス提供責任者部会 10回：Zoom 開催 研修会 3回：Zoom 開催 ○通所サービス事業者連絡会（会員事業所43カ所） 総会 4月に書面開催 役員会 7回：ZOOM・対面などにて開催 交流会 2回：ZOOMで実施 6月17日・10月14日 連絡会への連絡や細かいうちあわせはWEBツールを利用した。

(4) 専門的な支援の展開

項目	実績
在宅医療・介護連携の体制構築支援	<ul style="list-style-type: none"> ○在宅療養支援窓口会議 6回 ○研修会 3回 <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度 第1回 多職種連携研修会 80名参加（7/14 Zoom 開催） 「ACPの基本」 ・令和3年度 第2回 多職種連携研修会 82名参加（9/22 Zoom 開催） 「認知症のかたとのコミュニケーション」 ・令和3年度 第3回 多職種連携研修会 52名参加（2/9 Zoom 開催） 「ごちゃまぜIPE」 ○ICTミーティング 1回 92名参加（2/24 Zoom 開催） 「コロナ禍でも最高のケアチームを作る！」 ○市民向け講座(我がごと講座) 1回 43名参加（12/4 サンパルネ） 「知ってもらいたい入院から退院までのおはなし」 ○外部講師 2回 <ul style="list-style-type: none"> ・健康サポートのための多職種連携研修会【研修会A】（6/27）

	西部薬剤師会：「東村山市における薬剤師との連携」 ・健康サポートのための多職種連携研修会【研修会A】（7/22） 東京都薬剤師会：「東村山市における薬剤師との連携」 ○医療介護連携推進委員会への出席 1回（書面開催）
認知症のある方に対する支援についての相談	○相談件数 実人数 7名 延人数 22名 ○認知症施策会議 12回 ○会議への参加 ・東村山市医療・介護連携推進委員会（書面開催） ・初期集中支援チーム会議（7回）

6 中部地域包括支援センター（地域型；本町・久米川町・恩多町担当）

（1）総合相談支援

項目	実績																																											
日常的な相談支援	①相談件数																																											
	新規相談件数（件）																																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>独居</th> <th>高齢世帯</th> <th>同居</th> <th>介護保険施設</th> <th>入院</th> <th>不明</th> <th>介護保険外施設</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>225</td> <td>175</td> <td>193</td> <td>9</td> <td>80</td> <td>29</td> <td>12</td> <td>723</td> </tr> <tr> <td>(%)</td> <td>31.2</td> <td>24.3</td> <td>26.7</td> <td>1.2</td> <td>11.0</td> <td>4.0</td> <td>1.6</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table>		独居	高齢世帯	同居	介護保険施設	入院	不明	介護保険外施設	合計	件数	225	175	193	9	80	29	12	723	(%)	31.2	24.3	26.7	1.2	11.0	4.0	1.6	100.0																
		独居	高齢世帯	同居	介護保険施設	入院	不明	介護保険外施設	合計																																			
	件数	225	175	193	9	80	29	12	723																																			
	(%)	31.2	24.3	26.7	1.2	11.0	4.0	1.6	100.0																																			
	のべ相談件数（件）																																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>電話</th> <th>訪問</th> <th>来所</th> <th>メール・ファックス</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>4907</td> <td>2490</td> <td>343</td> <td>233</td> <td>70</td> <td>8043</td> </tr> <tr> <td>(%)</td> <td>61.1</td> <td>31.0</td> <td>4.3</td> <td>2.8</td> <td>0.8</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table>		電話	訪問	来所	メール・ファックス	その他	合計	件数	4907	2490	343	233	70	8043	(%)	61.1	31.0	4.3	2.8	0.8	100.0																						
		電話	訪問	来所	メール・ファックス	その他	合計																																					
	件数	4907	2490	343	233	70	8043																																					
(%)	61.1	31.0	4.3	2.8	0.8	100.0																																						
②相談内容																																												
<p>相談内容では、介護保険利用および認定申請に関する相談が多い。昨年度に比べ、虐待・権利擁護、見守りに関する相談が増加している。（件）</p>																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>相談内容</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>介護保険申請</td><td>626</td></tr> <tr><td>サービス改善要望</td><td>33</td></tr> <tr><td>サービス利用</td><td>1199</td></tr> <tr><td>予防プラン関係</td><td>472</td></tr> <tr><td>施設入所</td><td>119</td></tr> <tr><td>保健医療</td><td>252</td></tr> <tr><td>助言担当医・歯科・...</td><td>13</td></tr> <tr><td>経済問題</td><td>83</td></tr> <tr><td>配食</td><td>50</td></tr> <tr><td>経過的支援</td><td>779</td></tr> <tr><td>介護に関する支援</td><td>57</td></tr> <tr><td>ケアマネジャー支援</td><td>165</td></tr> <tr><td>虐待・権利擁護</td><td>261</td></tr> <tr><td>成年後見・地権</td><td>70</td></tr> <tr><td>家屋への支援</td><td>89</td></tr> <tr><td>安否確認</td><td>45</td></tr> <tr><td>見守り</td><td>105</td></tr> <tr><td>認知症の相談</td><td>160</td></tr> <tr><td>その他</td><td>602</td></tr> <tr><td>総合相談</td><td>262</td></tr> <tr><td>福祉用具購入・住宅...</td><td>207</td></tr> </tbody> </table>	相談内容	件数	介護保険申請	626	サービス改善要望	33	サービス利用	1199	予防プラン関係	472	施設入所	119	保健医療	252	助言担当医・歯科・...	13	経済問題	83	配食	50	経過的支援	779	介護に関する支援	57	ケアマネジャー支援	165	虐待・権利擁護	261	成年後見・地権	70	家屋への支援	89	安否確認	45	見守り	105	認知症の相談	160	その他	602	総合相談	262	福祉用具購入・住宅...	207
相談内容	件数																																											
介護保険申請	626																																											
サービス改善要望	33																																											
サービス利用	1199																																											
予防プラン関係	472																																											
施設入所	119																																											
保健医療	252																																											
助言担当医・歯科・...	13																																											
経済問題	83																																											
配食	50																																											
経過的支援	779																																											
介護に関する支援	57																																											
ケアマネジャー支援	165																																											
虐待・権利擁護	261																																											
成年後見・地権	70																																											
家屋への支援	89																																											
安否確認	45																																											
見守り	105																																											
認知症の相談	160																																											
その他	602																																											
総合相談	262																																											
福祉用具購入・住宅...	207																																											

③予防給付

担当圏域内で、介護保険サービスの利用を希望する要支援認定者及び事業対象者に対して、介護予防ケアマネジメントを実施した。また、利用者の同意が得られ事業所も受入が可能なケースについては、居宅介護支援事業所へ委託した。委託は全体の64.1%であった。委託率は昨年度よりも低下している。新規の契約は年間で203件行い、昨年度の新規契約数よりも42件増えている。

介護予防ケアマネジメント件数 (件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
件数	528	533	542	566	570	582
うち委託	329	329	334	352	378	372
うち新規	12	18	20	22	17	21
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
590	605	614	612	606	609	6957
379	389	393	406	401	398	4460
16	18	26	13	11	9	203

担当圏域の民生委員との連携

地域住民から受けた相談や、民生委員自身が気付いた地域課題について随時連絡をいただき、必要に応じて対象者への訪問・見守り等を行った。3町ごとに地域ケア会議を行い、地域の高齢者に関する情報交換を行った。

民生委員不在地区訪問の実施

8月、熱中症予防勧奨のチラシを民生委員不在地区に配布した。新型コロナウイルス感染症の影響により対象地区への対面による訪問は行わず、対象世帯に対し緊急連絡先の確認用書類を投函した。

広報紙の発行

①広報紙を発行、地域の高齢者及び関係者・関係団体(自治会・福祉協力店・民生委員・高齢者サロン・福祉団体など)に配布した。新型コロナウイルス感染症の流行に鑑み、直接の手渡しは避け、ポストへ投函していく配布方法をとった。

号数	内容
春号 4月発行	特集；新型コロナウイルス感染症対策、詐欺、消費者被害
夏号 8月発行	特集；新型コロナワクチン接種、熱中症対策、こころの健康

②在宅療養支援窓口通信『どんとこい!』発行

地域包括支援センターの機能の一つである「在宅療養支援窓口」について広く市民に普及啓発するため、以前より行っている地域ケア会議等を通じた専門職への普及啓発に加え、一般市民に分かりやすく広める手段として新たに中部包括独自の広報紙を作成・配布した。2号では、地域包括助言担当歯科医師にコラムをご寄稿いただき、高齢者の口腔ケアの重要性について広報した。

	号数	内容
	創刊号 8月発行	「在宅療養」の定義、在宅療養で起こりがちな困り事、在宅療養を支える専門職の紹介
	2号 1月発行	在宅での「お口の健康」特集。かかりつけ歯科医の奨励、地域の歯科医師によるコラム「在宅療養での口腔ケアの重要性について」、口腔ケアのポイント

(2) 包括的・継続的ケアマネジメント支援

項目	実績																				
担当圏域の介護支援専門員への支援	<p>担当地域の介護支援専門員が利用者に寄り添い、その人らしい日常生活を営むことを支援できるように介護支援専門員に対して支援を行った。</p> <p>①ケアプラン点検 居宅介護支援事業所の主任ケアマネジャーと包括支援センター職員がペアになり、圏域の居宅介護支援事業に対してケアプラン点検を実施した。 6月：9回 実施事業所：NPO・ACT たま北居宅介護支援事業所・ウィズケア居宅介護支援事業所・居宅介護支援事業所ここね・居宅介護支援センター保生の森 10月：7回 実施事業所：NPO・ACT たま北居宅介護支援事業所・ウィズケア居宅介護支援事業所・寿居宅介護支援事業所</p> <p>②介護支援専門員への支援 地域の介護支援専門員からの相談に応じ、延べ165件の個別相談を行った。</p>																				
地域の連携体制の構築	<p>①地域ケア会議</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月 日</th> <th>テーマ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5月28日</td> <td>栄養が摂れない方への支援について（自立支援型）</td> </tr> <tr> <td>7月2日</td> <td>認知症の独居者への見守り体制構築（個別ケース）</td> </tr> <tr> <td>7月30日</td> <td>栄養管理が出来ない方への支援（自立支援型）</td> </tr> <tr> <td>10月12日</td> <td>久米川町民生委員との情報共有（担当地域部会）</td> </tr> <tr> <td>10月29日</td> <td>恩多町民生委員との情報共有（担当地域部会）</td> </tr> <tr> <td>11月30日</td> <td>本町民生委員との情報共有（担当地域部会）</td> </tr> <tr> <td>12月17日</td> <td>要支援の方の社会参加（自立支援型）</td> </tr> <tr> <td>3月10日</td> <td>虐待対応の基本（多職種連携）</td> </tr> <tr> <td>3月24日</td> <td>社会資源について（多職種連携）</td> </tr> </tbody> </table> <p>②在宅療養支援窓口の利用 89件（助言担当医への相談、往診依頼、地域ケア会議への参加等）</p>	月 日	テーマ	5月28日	栄養が摂れない方への支援について（自立支援型）	7月2日	認知症の独居者への見守り体制構築（個別ケース）	7月30日	栄養管理が出来ない方への支援（自立支援型）	10月12日	久米川町民生委員との情報共有（担当地域部会）	10月29日	恩多町民生委員との情報共有（担当地域部会）	11月30日	本町民生委員との情報共有（担当地域部会）	12月17日	要支援の方の社会参加（自立支援型）	3月10日	虐待対応の基本（多職種連携）	3月24日	社会資源について（多職種連携）
月 日	テーマ																				
5月28日	栄養が摂れない方への支援について（自立支援型）																				
7月2日	認知症の独居者への見守り体制構築（個別ケース）																				
7月30日	栄養管理が出来ない方への支援（自立支援型）																				
10月12日	久米川町民生委員との情報共有（担当地域部会）																				
10月29日	恩多町民生委員との情報共有（担当地域部会）																				
11月30日	本町民生委員との情報共有（担当地域部会）																				
12月17日	要支援の方の社会参加（自立支援型）																				
3月10日	虐待対応の基本（多職種連携）																				
3月24日	社会資源について（多職種連携）																				

(3) 地域ネットワーク構築

項 目	実 績												
<p>認知症サポーター養成講座の開催</p>	<p>包括主催のサポーター養成講座とステップアップ講座をスポーツセンターにて開催。ステップアップ講座では、サポーターの活躍の場としてのサロン活動の紹介やボランティア登録を勧め、地域に繋ぐ継続的なサポーター支援に取り組んだ。また、地域団体、企業からの要請による講座を実施し、生活支援コーディネーターと協働し、社会資源としての組織単位でのサポーター育成を図った。</p> <table border="1" data-bbox="432 562 1422 862"> <thead> <tr> <th data-bbox="432 562 683 607">月 日</th> <th data-bbox="683 562 1422 607">対象</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="432 607 683 658">7月11日</td> <td data-bbox="683 607 1422 658">東村山市体育協会</td> </tr> <tr> <td data-bbox="432 658 683 710">9月13日</td> <td data-bbox="683 658 1422 710">(株)長坂典礼</td> </tr> <tr> <td data-bbox="432 710 683 761">10月22日</td> <td data-bbox="683 710 1422 761">市民スポーツセンター</td> </tr> <tr> <td data-bbox="432 761 683 813">11月17日</td> <td data-bbox="683 761 1422 813">イトーヨーカ堂東村山店</td> </tr> <tr> <td data-bbox="432 813 683 862">11月19日</td> <td data-bbox="683 813 1422 862">認知症サポーターステップアップ講座</td> </tr> </tbody> </table>	月 日	対象	7月11日	東村山市体育協会	9月13日	(株)長坂典礼	10月22日	市民スポーツセンター	11月17日	イトーヨーカ堂東村山店	11月19日	認知症サポーターステップアップ講座
月 日	対象												
7月11日	東村山市体育協会												
9月13日	(株)長坂典礼												
10月22日	市民スポーツセンター												
11月17日	イトーヨーカ堂東村山店												
11月19日	認知症サポーターステップアップ講座												
<p>協議体の開催</p>	<p>○高齢者の生活課題に関するアンケート調査 第2層生活支援コーディネーターの活動目標として、「各地域住民の生活実態とニーズの把握」「生活支援サービスの創出」がある。「高齢者の生活課題のアンケート」を自治会やマンションの管理組合に向けて実施する計画を立てたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により住民の方々も集まらない状況の中、上半期は調査の実施は出来なかった。緊急事態宣言が解除された11月以降、マンション管理組合1か所、都営住宅の自治会1か所に調査を実施、結果を報告する事が出来た。 また、昨年度調査を実施したマンション管理組合にて「ラポール会」が、下半期調査を実施した都営自治会にて「11号棟なごみ会」が、各々協議体として話し合いの場をスタートすることが出来た。引き続き次年度も支援を継続していく。</p> <p>○ケアマネジャーによる「えんがわ介護そうだん」の企画・実施 介護相談のアウトリーチと地域活動拠点支援、活動の開発を目的に久米川町4丁目にある「縁ひらく庭 百才(ももとせ)」にて、居宅介護支援事業所の協力を得て、毎週火曜日の午後「えんがわ介護そうだん」を企画・実施した。 ・9/21～3/22までの25日間開設。来所者数59名、相談件数14件。 ・相談以外にも感染予防に配慮しながら「介護保険講座」「バルーンアート教室」「いまさら聞けないスマホ教室」「オムツ講座」「ヨガ体験会」のイベントも開催した。 ・相談の振り返り、共有を目的に関係者による連絡会議を開催した(10/19、12/14、3/22)。</p>												
<p>見守りネットワークの支援</p>	<p>○高齢者見守りネットワーク「本町だいじょうぶだぁネット」の活動をまちづくり支援係、法人運営係と連携して運営支援を行った。 ・新型コロナウイルス感染症の影響で直接集まれないため、事前に資料を郵</p>												

	<p>送し、5/22 にリモートにて総会を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の見守り活動助成の申請手続きの支援を行った。 ・運営委員会を7回開催した。（リモート開催） ・広報紙「本町だいじょうぶだぁネット通信」を初めて発行（3000部）し、だいじょうぶだぁネット会員、本町の自治会、「長寿を共に祝う会」対象者等に配布した。 ・本町児童館に協力して頂き、イメージキャラクターの名前を募集し「ぼん」と「ちょー」に決定した。
介護予防活動連携支援	<p>○新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、活動休止中のサロンスタッフに連絡を取り、休止中の状況確認や再開に向けて相談支援等を行った。（36ヶ所）</p> <p>○地域のサロンに地域包括支援センターのPR・高齢者福祉の理解等を図るため、関係機関等からの依頼に応じて広報啓発活動やミニ講座を実施するとともに、活動支援の相談を実施した。（109回）</p>
まちづくり支援係との連携	<p>○まちづくり支援係との連携会議を定例開催（12回）し、圏域の情報交換や地域課題、協議体の持ち方などについて検討を行った。</p>

（４）その他の業務

項目	実績
諸会議等への参加	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、中部エリア内の介護事業所が行う運営推進会議が開催されず、会議への参加は無かった。
実習受入	社会福祉士実習の受け入れを行った。

7 東村山市基幹相談支援センター

基幹相談支援センターとして、特定相談支援事業所等関係機関からの相談を受け、カンファレンスの調整・参加、ケース活動の支援等の他、東村山市障害者自立支援協議会の事務局として各種会議の運営にあたった。

（１）基幹相談支援センター（発展・強化計画関連事業）

①一般的な相談支援（障害者相談支援事業）

相談支援を利用している障がい者等の人数

	実人員	身体	重身	知的	精神	発達	高次脳	その他
障がい者	278	31	0	113	103	3	1	27
障がい児	3	1	0	0	1	0	0	1
計	281	32	0	113	104	3	1	28

支援方法

	訪問	来所	同行	電話等	個別支援 会議	関係機関	その他	計
件数	540	448	478	2391	49	616	344	4866

支援内容

	福祉サービスの利用等に関する支援	障がいや病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援	就労に関する支援
件数	685	260	922	496	9	382	427	1100	232
	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他	計					
件数	76	285	113	4987					

②指定特定相談支援事業所等の人材育成事業

指定特定相談支援事業所が担当しているケースカンファレンスに参加・助言・ケース支援等を行った。また、地域の事業所を対象とした研修会等を開催した。

(支援等の内容)

- ・指定特定相談支援事業所の支援
 - 親亡き後の支援体制の確認
 - 触法障がい者の支援体制の調整
 - カンファレンスの開催に向けた連絡調整、参加・助言
 - 障害者手帳や障害年金の申請に向けた支援
- ・研修会の開催

「ひきこもりについて基礎から知ろう」 講師：KHJ 全国ひきこもり家族会連合会

9月14日(火) 15:00～17:00 オンライン開催

虐待防止研修の開催：2法人、計3回実施(11月30日、12月2日、1月28日)

市内の事業所から依頼を受け、市障害支援課とともに対応した

③地域移行推進のための体制整備事業

④障がい者虐待の防止、早期発見のための事業

通報にもとづき、コア会議に参加し、市とともに事業所等へ訪問調査等を行った。

⑤成年後見制度利用支援事業

⑥東村山市障害者自立支援協議会の運営

- ・定例会の開催

回	月 日	内 容
1	6月30日(水) 14:00～15:30	新任委員自己紹介、令和3年度自立支援協議会研修会の開催について、BCPについて、専門部会等の活動内容の報告、基幹相談支

		援センター令和3年度事業計画、情報交換
2	12月23日(木) 14:00~15:30	令和3年度自立支援協議会研修会の報告について、BCPについて、専門部会等の活動内容の報告、情報交換
3	3月25日(金) 14:00~15:30	令和4年度自立支援協議会の活動テーマについて、専門部会等の活動内容の報告、情報交換

・相談支援部会の開催

回	月 日	内 容
1	4月15日	・計画策定の仕方について ・年間予定の検討
2	5月28日	・報酬改定について
3	6月17日	・事例検討①
4	7月15日	・社協の資源について(ボランティアセンター・移送サービス)
6	9月30日	・自由討議(地域課題を把握) ・重層的な相談支援体制について
7	10月21日	・事例検討②
8	11月18日	・子ども家庭支援センターについて
9	12月16日	・ケアマネジャーとの交流会 ・児童相談の集まりを実施
10	1月20日	・情報交換
11	2月17日	・次年度計画を検討 ・計画作成状況アンケートの結果について
12	3月17日	・令和4年度テーマ、取り組みについて

・就労支援部会の開催

回	月 日	内 容
1	5月31日	(新型コロナウイルス感染症の拡大により延期)
2	6月21日	・今年度の予定、地域課題について
3	7月26日	・就労継続支援B型事業所のオンライン見学会について検討
4	10月1日	・知的障害者余暇活動室「イクシア」見学会
5	11月29日	・東久留米特別支援学校見学会
6	1月31日	・市内就労支援機関について (ほっとシティ・ジョブラ・ジョブシェアセンター等) ・事業所紹介動画作成について
7	3月28日	・振り返り、来年度予定について ・事業所紹介動画作成について

・地域生活支援部会の開催

回	月 日	内 容
—	5月27日	・緊急事態宣言のため延期
1	6月29日	・イベント開催についての検討 ・情報交換

—	7月～8月頃	・法人・事業所の意向確認アンケート
2	11月5日	・イベントの開催について ・情報交換
3	2月2日	・リーダー打ち合わせ(会場確保・チラシ作成・ブースについて・シンポジウム等)
4	2月25日	・イベントの開催について ・情報交換

・自立支援協議会研修会の開催

日 時：令和3年11月26日（金）15：00～17：00

場 所：東村山市役所北庁舎 第2会議室

内 容：何かあっても障害サービスを続けていくために～BCPの基本について～

講 師：高橋 洋氏

参加者：36名

・その他

運営会議：随時開催

部会間交流会：8月19日（木）各部会で感じている課題・意見交換

⑦地域生活支援拠点のコーディネート業務

⑧各種会議・研修会等への参加

・東京都相談支援従事者初任者研修および現任研修への協力

研修受講生への実習対応（電話によるインタビュー対応）

・東村山市障害者福祉計画推進部会

・高次脳機能障害者支援促進事業連絡会議

・成年後見制度初期窓口ネットワーク会議

・東村山いのち支える自殺対策推進協議会

⑨ヘルプカードの周知・配布活動

(2) 一般相談支援事業

地域相談支援契約者数

・地域移行支援：0件

・地域定着支援：2件

(3) 障がい者の余暇・交流活動の支援

①日曜くらぶ

登録者：24名

主に知的障がいや身体障がいのある成人の方を対象に企画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とした。

②「おしゃべり会」（毎月第2月曜 10：00～12：00／るーと活動室）

身体障がいや難病の方を対象に、日常生活課題等の意見や情報交換、交流の場を提供。

・実施日：4/12, 10/11, 11/8, 12/13, 1/17

※5～9月、令和4年2～3月は新型コロナウイルス感染防止のため、中止とした。

・参加者；17名（延べ）

（４）関係機関とのネットワーク活動

①居宅介護サービス事業者交流会（隔月第3金曜日18：30～）

月 日	内容	担当事業所
6月18日	・令和3年度の交流会開催日時・活動内容について ・報酬改定について	障害支援課
8月21日	・事例検討	るーと
10月15日	・障害者虐待について	るーと・障害支援課
12月17日	・Paypay 学習会	障害支援課
2月18日	・事例紹介	サンケアネット
3月18日	・2月の振り返り、感想 ・年度まとめ	サンケアネット

②各種会議への参加

・東村山市精神保健福祉ケア検討会

③障害年金相談会

地域の社会保険労務士の協力を得て、障害年金に関する無料相談会を開催した。

隔月第1月曜日 午後1時30分～4時20分

9月6日、11月1日、1月17日、3月7日 延べ10名が参加

なお、社協事務所が工事により使用できなかったため、社会福祉法人けやき会 地域生活支援センターふれあいの郷の相談室を相談スペースとして提供していただいた。

（５）情報提供・広報・啓発活動

・福祉だより記事作成（障害年金相談会）等

8 福祉サービス総合支援事業（地域福祉権利擁護事業含む）

市内に在住する要援護者が福祉サービスを利用して、安心して地域で暮らしていけるように、福祉サービスに関する利用相談、成年後見制度の利用相談、福祉サービスの利用に際しての苦情対応、判断能力が不十分な方々の権利擁護相談等の支援を総合的・一体的に提供する窓口を設置し、地域福祉権利擁護事業と一体的に運営した。

（１）利用者サポート

①福祉サービスの利用に際しての苦情対応（介護保険制度を除く）：0件

②判断能力の不十分な方々の権利擁護相談（新規）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2	4	2	3	1	3	2	4	5	3	3	3	35

③成年後見制度の利用相談 ⇒成年後見制度推進事業相談実績を参照

④その他福祉サービス利用に関する専門的な相談 1件

(2) 福祉サービス利用援助事業

①地域福祉権利擁護事業

認知症の高齢者・知的障害者・精神障害者等の判断能力が不十分な方々に対し、地域で自立した生活を維持できるよう支援した（福祉サービス利用援助サービス、日常的金銭管理サービス、書類等預かりサービス）。

ア) 契約者数（令和4年3月末現在）

※（ ）内は前年度数値

種別	認知症 高齢者	知的 障害者	精神 障害者	不明 その他	合 計
契約者	44 (41)	23 (23)	24 (20)	6 (6)	97 (90)
うち生活保護 受給者	15	9	13	1	38

イ) 新規契約者数

種別	認知症 高齢者	知的 障害者	精神 障害者	不明 その他	合 計
契約者	18	3	7	1	29

ウ) 終了・解約者数

理由	死亡	施設入所 長期入院	判断能力低下 (内、後見人等へ引継)	本人自立	その他	合 計
契約者	4	3	10 (10)	0	5	22

エ) 相談支援件数（未契約支援も含む）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
問合せ (制度・事業について)	2	1	2	5	10	7	9	5	4	4	2	3	54
初回利用相談	11	4	3	4	5	9	9	5	5	5	4	4	68
継続相談 支援	489	365	391	362	370	397	441	464	430	406	329	439	4,883
合計	502	370	396	371	385	413	459	474	439	415	335	446	5,005

②対象拡大事業

地域福祉権利擁護事業の対象を、判断能力を有する要支援・要介護高齢者並びに身体障害者等にも拡大し、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理、書類預かりなどの援助を行い、地域で自立した生活が送れるよう支援した。

ア)契約者数（令和4年3月末現在） ※（ ）内は前年度数値

認知症 高齢者	知的 障害者	精神 障害者	身体 障害者	不明 その他	合 計
2	0	0	0	0	2
(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)

イ)相談支援件数（未契約支援も含む）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
問合せ (制度・事業について)	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
初回利用相談	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
継続相談 支援	1	0	1	1	1	0	6	4	3	3	1	3	24
合計	1	0	1	1	1	3	6	4	3	3	1	3	27

(3) 苦情対応・専門相談の実施

弁護士による専門相談を実施。利用者支援の各相談窓口から引き継いだ苦情及び権利擁護相談に関して専門的見地からの助言等を行っている。

【相談日時】 毎月第4金曜日（14時～16時 30分×4コマ）

【場 所】 社会福祉協議会内相談室

【専門相談員】 弁護士1名（多摩パブリック法律事務所より派遣）

◆相談件数

種別	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
高齢者	1	2	1	2	2	0	2	2	3	1	1	0	17
知的 障害者	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
精神 障害者	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	3
身体 障害者	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	3

不明・その他	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
合計	2	2	1	3	4	2	3	3	3	2	1	0	26

※2月のみ新型コロナウイルス感染拡大防止のため、リモート面談（ZOOM）での実施

（４）会議・研修等

①専門員・業務担当者研修

日付	研修・会議名	主催	参加者
5/12（水）	令和3年度 区市町村職員等高齢者権利擁護研修 「養護者による高齢者虐待対応研修 （基礎研修・第1回）」	公益財団法人 東京都福祉保健財団	1名
8/17（火）	令和3年度 地域福祉権利擁護事業 専門員研修 介護保険制度の理解（オンライン）	東京都社会福祉協議会	2名
8/25（水）	令和3年度 地域福祉権利擁護事業 専門員研修 地域福祉権利擁護事業にかかわる法律の基礎知識 （動画視聴）	東京都社会福祉協議会	3名
9/10（金）	令和3年度 再犯防止に関する研修会 ～RE：STARTを応援するあなたへ～ （オンライン）	東京都	2名
10/25（月）	令和3年度 区市町村苦情対応機関専門研修 「精神障害・疾患のある方からの 相談における視点」（動画視聴）	東京都社会福祉協議会	1名
11/15（月）	令和3年度 地域福祉権利擁護事業 専門員フォローアップ研修 「アセスメントについて」（オンライン）	東京都社会福祉協議会	2名
12/3（金）	令和3年度 第3回 北多摩北部ブロック 権利擁護業務担当者研修 「専門員の日ごろの業務での戸惑いやジレンマにつ いて情報共有を図る」（オンライン）	清瀬市社会福祉協議会	2名
1/18（火）	令和3年度 地域福祉権利擁護事業専門員研修 「モニタリングについて」（オンライン）	東京都社会福祉協議会	2名
1/24（月） 1/25（火）	令和3年度 日常生活自立支援事業 専門員実践力強化研修会Ⅱ（オンライン）	全国社会福祉協議会	1名
2/1（火）	令和3年度 地域福祉権利擁護事業 専門員研修 「事例検討」（オンライン）	東京都社会福祉協議会	1名

②生活支援員研修

日付	研修・会議名	主催	参加者
7/6 (火)	令和3年度 第1回 地域福祉権利擁護事業 生活支援員業務連絡会	東村山市社会福祉協議会	19名
12/21 (火)	令和3年度 第2回 地域福祉権利擁護事業 生活支援員業務連絡会	東村山市社会福祉協議会	19名
1/31 (月)	令和3年度 地域福祉権利擁護事業・現任生活支援員研修会 「知的障害者支援について 基本的知識を理解する」(動画視聴)	東京都社会福祉協議会	17名
3/8 (火)	令和3年度 第3回 地域福祉権利擁護事業 生活支援員業務連絡会 (オンライン+会場)	東村山市社会福祉協議会	18名

③会議

日付	研修・会議名	主催	参加者
5/24 (月)	令和3年度 第1回 北多摩北部ブロック 権利擁護業務担当者会議	清瀬市社会福祉協議会	1名
6/28 (月)	令和3年度 第1回 地域福祉権利擁護事業 業務連絡会 (オンライン)	東京都社会福祉協議会	1名
7/30 (金)	令和3年度 第2回 北多摩北部ブロック 権利擁護業務担当者会議 (オンライン)	清瀬市社会福祉協議会	2名
8/18 (水)	多職種連携研修会にて専門相談の情報提供	東村山市基幹型包括支援 センター	1名
11/18 (木)	令和3年度 地域福祉権利擁護事業 センター長会議 (オンライン)	東京都社会福祉協議会	1名
2/4 (金)	令和3年度 第2回 地域福祉権利擁護事業 業務連絡会 (オンライン)	東京都社会福祉協議会	1名
2/25 (金)	令和3年度 第4回 北多摩北部ブロック 権利擁護業務担当者会議 (オンライン)	清瀬市社会福祉協議会	2名

9 成年後見制度推進事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会議や講座は一部を除きオンラインで開催した。

相談件数は、新規・問合せ、継続ともに増加傾向であり、特に高齢者に関する相談の増加が顕著であった。新型コロナウイルス感染症の影響により、入院・入所先での面会ができないことや、在宅時間が増え消費者被害や虐待等の問題が生じたことで、成年後見制度の利用を検討するケースが見られた。

地域福祉権利擁護事業から成年後見制度への移行については、判断能力低下の他、キーパーソン不在や長期入院等、必要性のあるケースについて申立て支援を行った。

今年度は令和2年度市民後見人等候補者養成課程の2年目であり、感染対策を講じながら実習を行った。また7市合同による市民後見人等候補者のフォローアップ講習は、全7回をオンラインにて開催し、コロナ禍に於いても他地区との交流やスキルアップができるよう努めた。

(1) 成年後見人等の支援

1) 成年後見制度の利用相談・問合せ

問合せ・新規相談件数													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
高齢者	27	9	23	22	28	16	18	28	17	15	19	13	235
知的障害者	0	1	6	2	0	1	1	3	0	0	3	3	20
精神障害者	2	3	0	2	4	4	1	3	2	2	1	2	26
その他／不明	0	0	1	0	1	3	0	1	0	1	0	0	7
合計	29	13	30	26	33	24	20	35	19	18	23	18	288

2) 問合せ・新規相談件数の内訳（複数回答）

項目	件数	項目	件数
成年後見制度利用・手続き等	248	遺言作成	7
任意後見制度利用・手続き等	32	親亡き後	6
専門職の紹介等	23	相続手続き	10
後見人等就任後の業務	10	債務問題	0
監督人との問題	0	消費者被害	2
後見人等の辞任について	3	金銭搾取、経済的虐待	4
日常的金銭管理	22	親族間紛争	8
財産（不動産含む）の管理	14	入院費、施設利用料等の支払い	17
預貯金の取引、解約	10	将来・死後	10
福祉サービス利用、入所等契約	10	不明／その他	0
合計			436

継続相談支援件数													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
高齢者	134	71	94	109	110	114	117	137	186	153	91	125	1,441
知的障害者	8	2	15	11	12	13	18	16	8	3	6	7	119
精神障害者	62	50	43	28	26	16	18	29	25	18	21	18	354
その他／不明	1	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	4
合計	205	123	152	149	149	143	153	182	219	175	118	150	1,918

3) 成年後見人等支援のための実務研修、連絡会等

①出前講座

1件予定していたが、新型コロナウイルス感染急増の状況によりキャンセルとなった。

②公開講座

日時	講座名	講師	人数
7月7日(水) 13時30分～16時 (オンライン開催)	関係者向け講座「成年後見制度について～支援のポイント～」	公益社団法人 東京社会福祉士会 ばあとなあ東京 社会福祉士 岡野 範子 氏	23名
11月20日(土) 9時30分～ 11時30分	市民向け講演会「知って役立つ！成年後見制度」	公益社団法人 成年後見センター・リーガルサポート東京支部 司法書士 大坂谷 扶美枝 氏	21名
1月22日(土) 9時30分～ 11時30分	市民向け講演会「知って役立つ！成年後見制度」	公益社団法人 成年後見センター・リーガルサポート東京支部 司法書士 大坂谷 扶美枝 氏	12名
3月2日(水) 13時～16時	親族後見人向け相談会(個別相談)	公益社団法人 成年後見センター・リーガルサポート東京支部 司法書士 真坂 武 氏	3件 ※

※3件問合せがあったがうち1件は当日連絡なくキャンセルとなった。

4) その他の取り組み

- ①市長申立て数 12件(高齢10件、知的1件、精神1件)
- ②緊急的な事務管理 新規8件、終了6件(過年度の継続ケース含む)、
管理中(当月新規預かり含む)5件
- ③第三者後見人候補者紹介 53件(法人6件、弁護士5件、司法書士26件、社会福祉士16件)
※他、申立書類作成等の専門職紹介も行った。

(2) 地域ネットワークの活用

- 1) 初期相談窓口ネットワーク会議(6/17、3/22 オンライン開催)

- 2) 成年後見制度推進機関ケース検討会議（5/18・6件、5/27・6件、9/27・4件、12/7・4件、3/22・1件）
- 3) 多摩地域における成年後見制度利用促進基本計画に関する連絡会（9/17 オンライン会議）
- 4) 地域と家裁の連絡会（11/30 オンライン会議）
- 5) 法テラス多摩地方協議会（2/9 オンライン会議）

(3) 運営委員会

	日 時	内 容	出席者
1	8月27日（金） 13時～14時30分 （オンライン開催）	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事業計画について ・市民後見人の活動について ・情報提供「成年後見制度利用促進基本計画の動向と東村山市成年後見制度推進機関における実施状況について」等 	15名
2	3月1日（月） 13時30分～15時 （オンライン開催）	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度上半期事業報告（1月末迄） ・市民後見人の活動状況について ・相談事例の課題について 	18名

(4) 法人後見監督の受任（発展・強化計画関連事業）

- 1) 法人後見監督に向けての活動
 - ①市民後見共有会議（8/20・1件）

2) 法人後見監督の受任状況

①市民後見人の受任状況

	性別	申立日	審判日	終了日	類型	原因障害
1	女	H29/ 9/29	H29/10/16	/	後見	認知症、精神障害
2	女	R 1/ 8/28	R 1/ 9/13	/	後見	認知症、知的障害
3	男	R 1/11/ 6	R 1/11/29	/	後見	認知症
4	男	R 3/ 4/30	R 3/ 5/13	/	後見	精神障害

②法人後見監督の相談支援件数 43件

(5) 市民後見人等候補者の養成及び支援の一体的実施（発展・強化計画関連事業）

1) 市民後見人の養成

- ①令和2年度基礎講習受講生4名の地域福祉権利擁護事業 生活支援員実習を実施。
4/19、4/26、4/28、5/10、5/12、5/19、5/27、6/14、6/15、6/16、6/28、7/12、7/20、7/21、7/26、8/2、8/18、9/13、9/15

②市民後見人等候補者の登録

2ヵ年の養成課程が修了し、2月末で新たに4名が登録された。

登録者数：13名（平成27年度修了生6名、30年度修了生2名、東京都修了生1名、令和2年度修了生4名）。うち後見人等の受任者4名。

2) 市民後見人等候補者の支援

① 7市合同市民後見人等候補者フォローアップ講習の開催

平成27（2015）年度より、近隣7市（小金井市、小平市、西東京市、東久留米市、三鷹市、武蔵野市、東村山市）による市民後見候補者等養成に関する合同会議を開催。

今年度は7市合同市民後見人等候補者フォローアップ講習を実施。新型コロナウイルス感染拡大防止のためWeb会議ツールを使用したオンラインと会場受講のハイブリッドで開催した。幹事市は小平市、副幹事市は武蔵野市。

	日時	内容	主催・講師等	出席者
1	11月11日（木） 14時～16時	わかりやすい後見人の実務～ 受任から終了まで～	司法書士 河西麻子氏	3名
2	11月29日（月） 14時～16時	対人援助の方法～被後見人により 良い支援をするために～	ルーテル学院大学教授 福島喜代子氏	7名
3	12月6日（月） 14時～16時	年金制度について	社会福祉士 社会保険労務士 黒田 山彦氏	6名
4	12月14日（火） 10時～12時	意思決定支援について（コロナ禍 における支援、改正点を含む基礎知識 のアップデートについても）	司法書士 稲岡 秀之氏	4名
5	1月17日（月） 14時～15時30分	事例検討（受任者向け）	社会福祉士 永吉 久美氏	4名
6	1月26日（水） 10時～11時30分	身寄りのない方の終末期医療	田無訪問看護ステーション 所長 加賀美 久仁子氏	6名
7	1月31日（月） 14時～16時	事例検討（未受任者向け）	社会福祉士 田中 康一氏	3名

② 市民後見人等候補者連絡会

	日時	内容	出席者
1	7月6日（火） 14時～15時	受任している市民後見人の活動状況、 市民後見人のケース受任状況、7市 合同フォローアップ講習について等	7名
2	3月8日（火） 13時30分～14時30分 （ハイブリッド開催）	受任している市民後見人の活動状況 について、市民後見人のケース受任 状況について、令和3年度7市合同 後見人等候補者フォローアップ講習 について、令和4年度市民後見人等 候補者連絡会及びフォローアップ講習 について	6名

3) 会議の開催等

①成年後見事例検討会（5/14・1件、8/27・1件、11/16・1件、3/1・1件、各回オンライン開催）

②7市合同後見人候補者等事務局会議

	日時	内容	出席者
1	7月5日（月） 14時～15時30分	令和3年度第1回 7市合同市民後見人等フォローアップ講習事業に係る事務局会議（開催方法、講習対象者、内容等）	東村山市 2名

(6) その他推進機関業務

1) 推進機関業務

①市地域福祉推進課との定例協議

計11回実施（7、8月は書面開催）。事業運営について協議・検討を行った。

②顧問弁護士相談

計12回実施・延べ相談件数47件

来所時に職員からの相談事案に対して専門的見地から助言いただいた。また、緊急性の高い事案には電話等で迅速に助言いただいた。

2) 会議・連絡会への参加

①利用者支援区市町村連絡会（5/24、2/25 オンライン会議）

②成年後見推進機関テーマ別研究会議（7/28、12/8、3/14・各日オンライン会議）

③東京都成年後見地域連携ネットワーク会議（11/1・オンライン会議）

④東京都成年後見制度推進機関連絡会（11/1・オンライン会議）

⑤家事関係機関と東京家庭裁判所との連絡協議会（2/16 オンライン会議）

3) 各種研修会等への参加

①成年後見制度推進機関フォローアップ研修（第1回、第2回・各回動画配信、3/22 オンライン研修）

②第152回市町村職員を対象とするセミナー（5/28・オンライン研修）

③東村山市社会福祉法人連絡会 新型コロナウイルス感染症の標準予防（9/15）

4) 実習生受け入れ

①社協実習生（8～9月・計5名）

Ⅲ 在宅福祉サービス事業

1 居宅介護支援事業、介護予防ケアマネジメント、介護予防支援事業

居宅介護支援事業では、令和3年度の介護保険制度改正に合わせた業務体制の見直しを行った。また、事業所の運営基盤を安定させるため5月よりケアマネジャーの常勤化（常勤嘱託職員の採用）を図った。

新型コロナウイルス対応については引き続きケアマネジャー自身が感染防止につとめると同時に、緊急事態宣言下では、利用者の不安を受けとめ、法令に則りつつ対面によらない方法にてケアマネジメントを行うこともあった。

(1) 居宅介護支援、介護予防ケアマネジメント、介護予防支援

① ケアマネジメントの実施、介護予防ケアマネジメント、介護予防支援の受託

要介護度別介護報酬請求件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	(%)
予防受託	9	10	10	10	10	11	11	11	12	16	13	12	135	13.6
要介護1	20	24	27	27	26	27	26	28	31	29	28	29	322	32.4
要介護2	18	20	19	19	19	23	22	20	22	22	21	22	247	24.9
要介護3	7	9	10	9	10	11	10	12	12	12	17	17	136	13.7
要介護4	2	4	3	4	5	7	7	7	7	6	6	8	66	6.6
要介護5	8	9	8	8	8	7	5	6	7	7	8	6	87	8.8
合計	64	76	77	77	78	86	81	84	91	92	93	94	993	100.0

※予防受託は要支援者と事業対象者の合計（地域包括支援センターからプラン作成を受託）

加算の請求件数

加算内容	件数	加算内容	件数
初回加算	43	入院時情報連携加算Ⅰ	1
退院・退所加算Ⅰ	0	入院時情報連携加算Ⅱ	0
退院・退所加算Ⅱ	0	通院時情報連携加算	4

② 研修・会議等

- 東村山市居宅介護支援事業者連絡会総会（オンライン開催）4/16
- 居宅介護支援事業者連絡会主任ケアマネジャー部会総会（オンライン開催）5/21
- 令和3年度介護報酬改定等に係る集団指導（動画視聴）4/9～5/7
- 居宅連絡会研修「認知症についての医療知識」（オンライン開催）6/11
- 居宅連絡会「面接技術向上研修（第1回）」（オンライン開催）7/6
- 令和3年度第1回北部圏域（個別）地域ケア会議「0さんの困り事とこれからの対応」8/12
- CMAT大規模研修「ケアマネジメントに必要な相談援助技術とは～利用者の表せない気持ちに気づく支援者を目指して～」（オンライン開催）8/25

- 令和3年度第1回東村山市介護支援専門員の資質向上研修会「コロナ禍におけるケアマネジメントについて」（オンライン開催）8/27
- 居宅連絡会「面接技術向上研修（第2回）」（オンライン開催）9/28
- CMAT 大規模研修「介護支援専門員に必要な統計データの読み方」（オンライン開催）10/15
- 居宅連絡会主マネ部会「ケアマネが押さえておきたい2021年4月介護報酬改定パート2」11/11
- 東京都福祉保健財団・介護サービス事業管理者高齢者権利擁護研修「高齢者虐待防止研修」11/17
- 北部圏域地域ケア会議・共同研修会「北部圏域のインフォーマルサービスについて」12/20
- 令和3年度第2回北部圏域（個別）地域ケア会議「0さんの困り事とこれからの対応」2/10
- 令和3年度東村山市集団指導「指定居宅介護支援」（オンライン開催）2/15
- 令和3年度第3回東村山市介護支援専門員の資質向上研修会「福祉用具・住宅改修点検におけるリハビリテーション専門職との連携」（オンライン開催）2/15
- 令和3年度東村山市集団指導「指定介護予防支援」（オンライン開催）2/25
- 居宅連絡会・主任ケアマネジャー部会・制度業務担当 7/13、8/18、9/21、11/4、12/2
- 居宅連絡会・主任ケアマネジャー部会・ケアプラン点検担当 6/18、6/23、6/28、10/12、10/19、10/26
- 所内・居宅介護支援事業職員会議 12回
- ③介護サービス情報の公表に係る報告・調査
 - 訪問調査 3/25

2 訪問介護事業、介護予防・日常生活支援総合事業第一号訪問事業

（1）訪問介護、介護予防・日常生活支援総合事業第一号訪問事業

新型コロナウイルス感染拡大第5波以降、自宅療養者が急増したことで陽性の利用者へのサービス提供が少しずつ見られるようになった。事業所としては、感染防止措置を図りながら継続的なサービス提供に努めた。従事者には、感染者への突発的な接触を想定して防護服等感染予防対策キットを配布し、常時携行させた。サービスの質の確保としては、多人数での対面での研修が困難なことから少人数のグループに分けて同内容の研修を繰り返し行うなど実施方法を工夫した。

介護の担い手である登録ヘルパーの人数は、依然、活動要請に対して慢性的に不足している。

介護度の内訳では、要介護と認定された方への訪問介護に比べて、要支援、事業対象者への介護予防のサービス提供の割合が増加してきている。その結果、サービス提供時間や内容が限定され経営的に厳しい状況を生んでいる。

①サービス内容

介護保険制度で要支援・要介護と認定された方及び介護予防・日常生活支援総合事業対象者の方を対象に、居宅サービス計画に基づき訪問介護員を派遣し、生活支援・介護サービスを提供することにより利用者の在宅生活を支援する。内容としては、入浴・排泄・食事等の介護、調理・洗濯・掃除等の家事、外出付添、生活に関する相談助言等である。

②サービス提供時間

月曜日～土曜日（祝日を含む）の午前7時～午後7時の間

③実績

利用者数及びサービス提供時間数（時間数は時間：分で表示）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
訪問介護	人数	48	50	50	52	51	47		
	時間数	397：40	377：20	421：00	425：25	411：50	400：30		
訪問型サービス	人数	52	50	49	49	48	46		
	時間数	241：20	235：50	221：50	230：05	221：20	226：10		
自費	人数	12	10	12	8	11	8		
	時間数	37：30	29：30	35：00	29：00	27：00	23：30		
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
訪問介護	人数	52	51	56	53	54	55	619人	
	時間数	430：05	446：55	468：45	416：15	416：05	469：50	5,081時間40分	
訪問型サービス	人数	46	46	45	45	45	47	568人	
	時間数	205：05	210：55	201：00	195：00	198：05	229：10	2,615時間40分	
自費	人数	4	3	6	6	4	5	89人	
	時間数	17：30	18：00	25：00	23：00	17：00	18：30	300時間30分	

※自費の利用者は訪問介護又は訪問型サービスの利用者を含む

訪問介護員稼働実績（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
嘱託	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
登録	30	29	28	34	30	29	27	26	25	28	26	25	337
合計	33	32	31	37	33	32	30	29	28	31	29	28	373

④職員研修

訪問介護員内部研修会の開催

回	月/日	内 容	参加者数
第1回	7月	ヘルパー心構え（グループワーク） 同内容を3～4人のグループに対し9回に分けて実施した	25人
第2回	2月	ヘルパーとしての自己評価・自己目標設定研修（併せて高齢者虐待防止のセルフチェックリスト作成） 自宅で課題に取り組み提出する方法で実施した	24人

管理者、サービス提供責任者研修等

研修・講習会	月/日	人数
多職種連携研修会「ACPの基本」	7/14	2人
認知症の医療に関する基礎知識（オンライン研修）	10/8	1人
介護者の心の健康を保つポイント（オンライン研修）	10/22	1人
東京都福祉人材センター研修「介護職員スキルアップ研修（医療的知識編）」（オンライン研修）	11/2	1人
東京都福祉保健財団・介護サービス事業管理者高齢者権利擁護研修「高齢者虐待防止研修」	11/17	1人
訪問介護事業者連絡会研修「新型コロナウイルス感染症の標準予防・対策について」	11/25	8人

新任ヘルパー研修

新しく入職した訪問介護員に対して、ヘルパー心構えの読み合わせと同行訪問を実施

⑤会議

会議名	開催回数	内容
ケース会議（サービス担当者会議）	92回	利用者へのサービス内容の見直し、検討等
チーフヘルパー会議	14回	訪問介護事業所の運営に関する連絡調整等

⑥その他

- 登録ヘルパーへの被服等の支給（水筒、自転車かごカバー、衛生用品）
 - 登録ヘルパーへの感染予防対策キットの配布
 - 健康診断の実施（嘱託職員3名、非常勤職員・登録ヘルパー27名）
 - インフルエンザ予防接種補助の実施（登録ヘルパー16名）
 - 東村山市訪問介護事業者連絡会に加入し、サービス提供責任者部会、役員会に参加
- ⑦介護サービス情報の公表に係る報告・調査
- 訪問調査 3/25

3 ガイドヘルパー派遣事業

ガイドヘルパー派遣事業は視覚障害者（児）を対象に、日常生活上必要な外出における付き添いと、

文書等の代読・代筆、買い物等の介助を行うために、ガイドヘルパーを派遣する事業。

この事業は、市が実施する地域生活支援事業の「移動支援事業」と、障害者総合支援法による「介護給付費に位置づけられた同行援護と居宅介護」に区分される。また、65歳未満の利用者の通院は居宅介護で対応、65歳以上の利用者の通院は、介護保険制度が優先適用される。

移動支援については、利用者の国制度（同行、居宅）への移行が進んできているため時間数は減少傾向にある。同行援護の利用は、緊急事態宣言発令の影響を受けやすく宣言下では時間数の減少、解除後に増加といった波が見られる。居宅介護を利用しての通院は、昨年度は手控えられていたくらい

があるが、新型コロナウイルスについての感染予防の情報が行き届いたり、ワクチン接種が進んだこともあって今年度の時間数は増加傾向にある。

(1) ガイドヘルパーの利用に関する相談及び派遣調整

①利用契約者数

35名

②ヘルパー登録者数

23名

③派遣件数・派遣時間

移動支援（各種申請、冠婚葬祭、ウォーキング、買い物等）

(回/時間)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	26	23	23	21	20	14	11	10	11	4	0	0	163
時間	67	68	54.5	50	46	36.5	28.5	23.5	26	10	0	0	410

同行援護（各種申請、冠婚葬祭、ウォーキング、買い物等）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	152	119	131	139	115	116	142	161	159	127	120	141	1622
時間	325.5	244	255	267	115	218	283	364.5	373	265	254	296	3260

居宅介護（通院、リハビリ）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	46	42	49	55	42	46	40	38	42	43	40	46	529
時間	109.0	94.5	115.5	127.5	103	113.5	99.5	94.5	116.5	105.5	94.5	108	1281.5

④研修等

ガイドヘルパー派遣事業では、登録ガイドヘルパーの資質向上のために業務報告会と現任者研修をそれぞれ年2回実施している。今年度も新感染拡大防止の観点から集合型の報告会や対面研修の開催を極力見合わせ、書面開催やDVD視聴など形態を工夫をしながら実施した。

I) 業務報告会

名称（実施方法）	日程	内容	参加者
業務報告会① (書面開催)	5月21日配布	令和2年度年度業務報告	25名
業務報告会② (書面開催)	11月19日配布	令和3年度上半期業務報告	23名

II) 現任者研修

名称（実施方法）	日程	内容	参加者
第1回現任者研修 (DVD視聴とレポート提出)	8月～1月	「あるつく 見えない・見えにくい高齢者へのサポートガイド」、「イーちゃんの白い杖」	19名
第2回現任者研修	12/13、1/19、 2/18	ガイドヘルプの手引確認	21名

(グループワーク)		※1月、2月は感染拡大のため資料配布	
-----------	--	--------------------	--

Ⅲ) コーディネーター研修

介護サービス事業者研修「介護保険サービス事業者のリスクマネジメントとハラスメント対策」
(オンライン研修) 2/8～2/16

4 ふれあい事業

ふれあい事業は、一円貨募金を財源に、公的な制度の隙間を埋めるサービスとして当協議会が独自に取り組んでいる事業であり、社会福祉法人が実施する「地域における公益的な取組」に位置付けることができる。

(1) ひとり暮らし高齢者等ふれあい訪問事業（発展・強化計画関連事業）

ひとり暮らしの虚弱な高齢者を対象に、安否確認を行うため、東京ヤクルト販売（株）に委託して乳酸菌飲料の配布を行った。訪問日は、月曜日、水曜日、金曜日の週3回。

新型コロナウイルス感染者数が落ち着いてきた9月に入って新規で利用を希望される方の数が増え始めた。

①利用者の状況

○登録者数：89名（令和4年3月末現在） ◇新規登録者：13名

○取消者：4名

②延べ訪問回数：7,250回

③安否確認活動：16件

業者からの連絡を受け、利用者の緊急連絡先、ケアマネジャーや地域包括支援センターなどの関係機関、地域の民生委員等と連絡をとり、安否確認活動を16回行った。

安否確認の結果は ①外出 7件 ②入院 2件 ③呼鈴が聞こえない、気づかない6件 ④その他1件であった。

(2) ひとり暮らし高齢者等ふれあい電話訪問事業（発展・強化計画関連事業）

ひとり暮らし高齢者を対象に孤独感の緩和を主な目的として、電話訪問員（7名）が週に1回電話による訪問をして、話し相手になっている。利用者からの相談に関しては、電話訪問員や担当職員が関係機関等へ連絡をして対応を行った。コロナ禍といった状況を反映してか関係機関やご本人、ご家族より新規の利用相談が増えてきている。

①利用者の状況

○登録者数：31名（令和4年3月末現在） ○新規登録者数：7名 ○取消者：4名

②延べ訪問回数：1191回

③付帯するケース活動：16回

例年毎月行ってきた電話訪問員研修は新型コロナウイルス感染拡大防止への配慮から外部講師の招へいや見学ができないためから回数を見直すとともに、電話訪問員同士の情報交換、懇談といっ

た内容に変更して開催した。利用者と電話訪問員との交流会については、感染の収束が見られないため今年度も中止とし、代わりに利用者に向けたメッセージカードを作成。郵送（希望者には訪問し、玄関先で手渡し）にて配布した。

5 手話通訳者派遣事業

新型コロナウイルス感染症の予防を鑑みつつ、窓口だけではなく、訪問や同行も含め相談の対応を行った。入院の支援、介護保険サービスの利用、終活など、相談者の高齢化に伴って相談内容も変化・多様化してきている。

手話通訳派遣においても、遺産相続に向けた弁護士相談や入院先の医療機関など、通訳派遣を通して、地域の聴覚障がい者が安心して地域生活を送れるよう支援した。

(1) 相談

利用内容と件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	23	13	26	26	19	30	12	18	33	15	24	23	262
女	35	31	26	27	17	16	22	20	13	20	31	41	299
他機関等	13	6	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	23
内容別													
健康問題	4	6	2	3	12	4	10	8	8	4	15	20	96
労働問題	0	0	0	0	0	2	4	0	0	1	1	6	14
福祉	4	1	1	7	4	10	3	7	6	2	9	14	68
代読(手話化)	18	6	28	11	9	6	0	4	1	1	0	0	84
身辺援助	23	22	14	1	0	0	0	0	0	0	0	0	60
その他	22	15	10	31	11	24	17	19	31	27	30	25	262
合計	71	50	55	53	36	46	34	38	46	35	55	65	584

職場や公的機関からの文書を手話に翻訳するもの、職場・親戚宅への電話連絡、病院への予約電話等その場で対応できるものも多い。これは電話リレーサービス利用の普及に伴い減少すると予想されるが、その利用方法の理解の難しさから普及には時間がかかると思われる。

また、介護認定調査や介護施設通所や入所、入院、退院後の介護サービス利用など、介護に関する相談があった。介護保険の関係機関と連携し、来所相談の他、ビデオチャットでの相談あるいは同行をして課題解決に向けた支援を行った。

その他、聴覚障がい者の職場上司からの相談、福祉サービス提供事業所からの相談を受けた。

(2)手話通訳派遣事業実績

利用登録者数	個人 48 名 (男 22、女 26)	団体 1
利用者実数	個人 28 名 (男 12、女 16)	市 8 課、社協
登録手話通訳者数	15 名 (男 1、女 14)	

①手話通訳月別利用件数 () は東京手話通訳等派遣センター依頼分

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10	11	12	1月	2月	3月	合計	前年度
件数	66 (4)	33 (2)	54 (3)	57 (4)	51 (2)	50 (4)	62 (3)	61 (3)	52 (3)	71 (1)	52 (2)	53 (2)	662 (33)	503 (38)

※派遣先：

市内→590 件

市外→ 72 件 (港区、三鷹市、小平市、中野区、清瀬市、相模原市、東大和市、府中市、武蔵村山市、台東区、国立市、小金井市、豊島区)

②利用内容

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生命と健康	31	18	36	30	33	31	45	34	36	51	23	27	395
権利保持	0	1	2	1	1	0	1	0	1	0	0	1	8
行政	3	0	0	3	2	2	0	1	1	1	0	2	15
福祉	6	3	2	5	4	3	2	4	2	0	12	9	52
労働	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	1	0	5
住居	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
教育	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
文化	2	2	2	4	2	3	2	3	1	1	2	0	24
人間関係	2	0	1	0	0	1	1	2	0	0	1	0	8
団体会議	2	0	0	3	0	1	2	5	0	5	1	5	24
その他	15	6	10	11	9	9	7	12	11	12	12	9	123
合計	66	33	54	57	51	50	62	61	52	71	52	53	662

(3) 手話講習会

手話奉仕員の養成を目的とした入門クラスと基礎クラス及び、手話通訳者の養成を目的とした通訳応用クラス・通訳養成クラスを開催した。

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、開催の延期や休止をしつつ講習会を開催してきたが、入門クラスと基礎クラスについては約半分の講習で中止となった。

通訳応用クラス及び通訳養成クラスは全回数を実施し、3月の手話通訳者登録試験において1名が試験に合格し、令和4年度より手話通訳者として登録することとなった。

①手話講習会及び啓発クラス開催状況

講座名	期 間	時 間	回数	会 場	受講者数	修了者数
入門昼 (全 25 回)	7/20～ 火曜日	10:00～12:00	12 回 (中止)	社会福祉センター	19 名	—
入門夜 (全 25 回)	※7/24～ 土曜・火曜	10:00～12:00 19:00～21:00	12 回 (中止)	ふるさと歴史館 社会福祉センター	16 名	—
基礎 (全 30 回)	7/24～ 土曜日	10:00～12:00	13 回 (中止)	社会福祉センター	15 名	—
通訳応用 (全 30 回)	8/18 水曜日	18:30～20:30	30 回	市民センター	3 名	3 名
通訳養成 (全 25 回)	7/21～ 水曜日	19:00～21:00	25 回	社会福祉センター オンライン開催	6 名	6 名

※入門夜クラスは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、集会室の夜間使用ができなかった期間中、日時・会場を変更して開催した。

②手話講習会運営委員会

手話講習会、啓発講座、新型コロナ対策等の総合調整等のため開催した。

委員：聴覚障害者協会 1 名、昼・夜手話サークル各 2 名、社協 2 名(事務局)、計 7 名

回数：13 回(1 回/月程度 開催 19:00～21:00 オンライン開催あり)

③手話講習会担当講師打合せ

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、中止している間を含め、担当講師・アシスタントと共にクラスの進行等についての打ち合わせを各クラスで行った。

(4) 中途失聴・難聴者サポーター養成講座

中途失聴・難聴者の支え手を育成するため、サポーター養成講座を開催した。

講 師：特定非営利活動法人 東京都中途失聴・難聴者協会

日 時；1 月 13 日、20 日 13:30～15:30

場 所：社会福祉センター会議室 1・2

参加者：13 名

全 3 回を予定していたが新型コロナウイルス感染拡大の影響により、2 回目で中止。3 回目は資料送付で替えることとなった。

(5) 登録手話通訳者研修

自主研修を開催した 9 回（原則として毎月一回 19:00～20:00）のうち、外部講師による研修を 2 回行った。

(6) 会議・研修等

- ・意思疎通支援事業に関する市との定例協議

手話通訳者派遣事業に関して、市担当所管との協議、調整を行った。

- ・東村山市意思疎通支援事業連絡調整会議への参加

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面開催となった。

- ・利用者の声を聞く会

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け中止とした。

6 移送サービス事業

令和3年度より、サービス利用対象者を車いす利用者と視覚障がい者に拡大し、更なる外出の利便性を図った。現在、社協会員を対象とする事業であることから、社協会員サービスのあり方について継続して検討を行っている。

登録者数は121名（令和4年3月末現在）

（1）移送サービス調整・運行

下表のとおり移送車の運行を行った。新型コロナウイルス感染症の影響を受けた月は、利用件数が若干減少しているが、全体的に通常運行件数に戻りつつある。（前年度利用件数：987件）

①月別運行件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者実数	35	31	39	38	34	26	37	34	31	34	29	38	406
利用件数	92	82	113	107	99	106	103	101	105	82	81	106	1,177

②利用内容

	通院	入退院	通所	その他
件数	886	28	35	228

※その他：趣味、リハビリ、買い物等

7 車いす短期貸出事業

身体（下肢）が不自由な市民の方を対象に車いすの貸出を行った。最近では、介護保険制度の谷間を埋めるようなニーズが増えてきていることに加え、貸出期間の延長を希望する方も増えている。また今期は、高齢者を対象とした新型コロナウイルスに係るワクチン接種に行くために、車いすを借りたいという声が多くあった。

車いすの貸出状況及び在庫情報をデータ化し、適切に管理できるよう進めている。

貸出用車いすの老朽化が課題となっており、市内の福祉用具レンタル事業所に協力いただき計画的に点検を行い、適宜修理する他、場合によっては処分し、安心安全に車いすを貸出せるよう努めている。またボランティアグループ「ウィールの会」に車いすの清掃、簡単なメンテナンスを月2回程度行っていただいている。（新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、活動場所が提供できないなど、会自体が活動を中止していた期間があった。）

	貸出	返却
令和3年度	100	96

IV 法人運営

1 組織運営事業

(1) 理事会・評議員会・役員会の開催、監事監査の実施

項目	実績			
役員等の現状	(令和3年6月29日改選 令和4年3月31日現在)			
	会 長；大原喜美子		副 会 長；遠藤剛之、丹代了	
	常務理事；江藤佳子		会計担当理事；石橋茂	
	理 事；鳥羽美香、畠山香壽恵、松浦弘子、高橋照定、西岡修、酒井雅司 小松健二、藤原公子、吉田謙、平岡和富			
	顧問	監 事	理 事	評議員
定 数	若干名	2 名	14～16 名	28～32 名
現員数	2 名	2 名	15 名	29 名
理事会	回数	日時・会場	出 席	主 な 内 容
	第1回	6/11(金) 決議の省略	理事 14 名 監事 2 名	令和2年度資金収支補正予算の承認 令和2年度事業報告の承認 令和2年度決算報告の承認 次期理事・監事候補者の選定 次期評議員候補者の選定 令和3年度定時評議員会の招集 ※新型コロナウイルス感染症の影響により開催を中止し、決議の省略による手続きに移行した。 ※理事全員の同意書及び監事全員の確認書提出済
	第2回	6/29(火) 15:00～15:55 社会福祉協議会	理事 11 名 監事 2 名	会長並びに副会長の選定 常務理事並びに会計担当理事の指名 顧問の同意 評議員選任・解任委員会委員の選任
	第3回	10/19(火) 10:00～11:25 市民センター	理事 13 名 監事 1 名	令和3年度資金収支補正予算の承認 令和3年度第2回評議員会の招集 会長の職務執行状況について 予算の充流用について
	第4回	1/11(火) 10:00～11:13	理事 13 名 監事 2 名	定款細則の一部改正 会長の職務執行状況について 職員の給与に関する規程等の一部改正 令和3年度上半期監事監査報告

評議員会	第5回	3/14(月) 10:00~11:55	理事 12 名 監事 2 名	令和3年度資金収支補正予算の承認 令和4年度事業計画の承認 令和4年度事業計画の承認 会員規程の一部改正 事業基金の取り崩し 介護保険事業運営基金の積み立て 退職給付引当資産の積み立て 車いす短期貸出事業要綱の制定 ハラスメント防止規程の制定 非常勤職員の報酬加算の特例に関する要綱の制定 管理職の選任 令和3年度第3回評議員会の招集
	回数	日時・会場	出席	主 な 内 容
	第1回	6/29(火) 市民センター	出席 21 名	令和2年度資金収支補正予算の承認 令和2年度事業報告の承認 令和2年度決算報告の承認 理事 15 名及び監事 2 名の選任
	第2回	11/5(金) 社会福祉 センター 10:00~11:25	出席 27 名	令和3年度資金収支補正予算の承認
第3回	3/25(金) 社会福祉協議会 10:00~12:10	出席 26 名	令和3年度資金収支補正予算の承認 令和4年度事業計画の承認 令和4年度事業計画の承認 会員規程の一部改正 事業基金の取り崩し	
役員会	会長・副会長・常務理事・会計担当理事で構成する定例役員会を毎月（8月を除く）開催した。			
監査等の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・会計内部監査 5/24 10:00~12:00 内容；会計担当理事による令和2年度決算監査 11/5 11:30~12:00 内容；会計担当理事による令和3年度上半期会計監査 ・監事監査 5/27 10:00~12:00 内容；令和2年度事業・決算監査 11/22 13:30~15:30 内容；令和3年度上半期事業・会計監査 			

(2) 部会・委員会の開催

項 目	実 績
	6月に理事の改選があったが、新型コロナウイルス感染症の影響から部会・委員会活動を実施することが出来なかったため、今回は部会・委員会を再編せず、再任の方にはそのまま、新任の方には前任者の部会・委員会に所属してもらうこととした。

部会・委員会の活動

① 女性・子ども部会〔委員 9 名〕

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施していない。

②心身障害者（児）部会〔委員 10 名〕

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施していない。

③高齢者部会〔委員 10 名〕

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施していない。

④小地域福祉活動部会〔委員 9 名〕

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施していない。

⑤福祉だより編集委員会〔委員 6 名〕

年 5 回の発行を通じ、市民に向けて社協事業の広報に努めた。

編集委員会の開催（No. 220、No. 221）。なお、No. 218、No. 219 については新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面にて意見をお伺いした。

(3) 会員制度の啓発、会員拡充

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行いながら、会員とのつながりを絶やさないよう福祉協力員会の協力を得て、訪問型会費集金活動を継続しました。

現在加入してくださっている方々への感謝の気持ちを伝えるとともに、継続していただけるよう働きかけを行い、加入者にはメモ帳を配布した。また、企業や事業所等への PR を中心に会員拡充に努めた。

今年度より、ご希望の方や企業・事業所等向けに指定口座からの引き落としシステムを導入し、10 月より開始した。

令和 3 年度 会員加入状況	区 分		会費額 (1 口)	令和 3 年度		令和 2 年度	
				会員数	金 額	会員数	金 額
正会員	個 人	500 円	4,955	4,055,500	5,257	4,276,500	
	団 体	1,000 円	128	594,000	122	597,000	
賛助 会員	一般賛助	1,000 円	140	184,000	135	175,000	
	特別賛助	5,000 円	65	460,000	60	430,000	
			5,288	5,293,500	5,574	5,478,500	
口座自動払い件数：10 件 会員加入率 7%（令和 2 年度 7.5%）東村山市世帯数 74,753 世帯							
地域福祉大会の 開催	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、事前に整理券を発行、当日入口にて検温、マスク着用を徹底し、二部完全入れ替え制とした。 ○4 月 17 日（土）第一部 10:30～11:52 / 第二部 13:00～15:00 参加者：197 名（延べ人数・職員を除く） 内容：＜第一部＞ ㊦表彰・感謝状贈呈 福祉協力員 15 期；5 名、福祉協力員 10 期；20 名 福祉協力員 5 期；45 名、永年・高額寄付；4 名（個人・団体） ボランティア活動功労；4 件、福祉協力店永年活動；5 店舗 ㊧第 5 次地域福祉活動計画（WE♥東村山プラン）中間報告会 動画上映						

	＜第二部＞ 映画上映「体操しようよ」
会員制度啓発 会費募集の取 組み	<ul style="list-style-type: none"> ・会員ニュース発行 6,000部 ・福祉だより10月1日号で賛助会員、団体正会員名の掲載。12月1日号で個人会員数を掲載した。10月1日号では、社協会員5団体に社協とともにめざしたい東村山について力強い応援メッセージをいただき、会員募集記事として掲載した。 ・今年度も昨年度に引き続き、コロナの感染状況をみながら個別集金については、福祉協力員会に依頼し、市内各町の協力してくれる個人・団体正会員の方々に、会員加入のお礼・継続依頼文書と会員ニュースを配布後に会費の依頼をし、会員募集の呼びかけに努めた。 ・社協会員の作品を展示する「会員ひろば」を事務所内に設置し、会員との交流に努めた。（展示件数：延べ17件） ・「ひとりぼっちのいない町づくり」をテーマに、会員制度が「誰かにつながる・社協とつながるきっかけ」となることを伝える自治会向け加入依頼チラシや会員ニュースを作成し、理解促進に努めた。 ・退会希望の方・長期納入なしの方にこれまでの感謝を込めてお礼のハガキを送付した。ハガキが届いたと連絡があり、再度会員になってくださる方もいた。

（４）運営体制の整備（発展・強化計画関連事業）

項 目	実 績
規程等の整備	定款、規程、要綱等の改正、所轄庁への届出等を行った。
法人経営管理 業務の改善	昨年度に引き続き、会計事務所と顧問契約を締結し、適正な財務会計体制の確立と経営管理の改善に努めた。また、実務者としての知識を得るため、財務会計に携わる職員は段階に応じた会計研修を受講し、レベルアップを図った。
職場内研修	<p>日時；令和4年3月8日(火)午後4時～ 地域福祉活動室</p> <p>内容；ハラスメントの種類、カスタマーハラスメントとは、クレーム対応 介護現場におけるハラスメント対策マニュアルの必要性等</p> <p>講師；東村山市社会福祉協議会顧問弁護士 松原拓郎氏</p> <p>職員研修体系の確立を目指したが、年度内に整備できなかった。次年度に引き継ぎ、検討を進める。また、ファンドレイジング研修を役職員対象に実施する予定だったが、コロナの影響から実施が出来なかったため、次年度再度計画をしたい。</p>
局会議の開催	係間連携を強化し、組織の効果的な運営を図るために毎月局会議を開催した。

（５）自己財源の確保（発展・強化計画関連事業）

項 目	実 績
会員会費 (再掲)	<p>会員数；5,288件※3月31日現在（令和2年度；5,574件）</p> <p>会費額；5,293,500円※3月31日現在（令和2年度；5,478,500円）</p>

寄付金・寄付物 品	<p>寄付金；119件 3,316,433円（令和2年度；208件 4,874,815円）</p> <p>7月よりマンスリー寄付（クレジットカード決済等）をホームページ上で募集。マンスリー寄付者5名（令和4年3月31日現在）</p> <p>※寄付者の中には、ボランティアセンター事業のために使ってほしい、ふれあい事業にを使ってほしいというように使い道を指定される方もいた。</p> <p>物品寄付；自転車1台、車いす3台、食料品、日用品等</p>
募金運動	<p>① 一円貨募金</p> <p>一円貨募金推進委員会の事務局として募金運動を推進した。昨年度中止としたが、今年度実施するにあたり市内自治会へ事前に「一円貨募金アンケート調査」を実施。協力可能な自治会へ募金の依頼を行った。募金は、移送サービス事業、ふれあい訪問・ふれあい電話訪問事業、標準服リユース事業、新規事業として応急小口資金貸付の対象の方への物資支援の財源の一部とした。また、コロナ禍でも出来る下記の取り組みを行い、募金運動の推進に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアチルドレン（通称ボラチル）、ボランティアグループの協力を得て、募金箱のデコレーションを行い、公民館等の各公共機関へ設置。（16カ所） ・東村山市社会福祉法人連絡会へ募金箱の設置依頼し、様々な施設に募金箱を設置。（14施設） ・ボラチルに一円貨募金応援メッセージをテープに録音し、募金期間中市内を広報車にて募金運動を呼び掛けた。 ・福祉協力員会へポスター掲示やチラシ配布、「一円貨募金」プレートの取り付けを依頼、出来る範囲で募金運動のPR活動の協力をいただいた。 <p>*募金総額 1,788,541円（令和元年度；4,295,952円）</p> <p>②赤い羽根共同募金</p> <p>東京都共同募金会東村山地区協会の事務局として、赤い羽根共同募金運動を推進した。コロナ禍での募金運動ということで、昨年に引き続き自治会等へ「共同募金運動に関するアンケート調査」を実施し、このような状況下でご協力いただけるものなのかを確認した上で、協力可能な自治会に依頼した。</p> <p>ボラチル、東村山市社会福祉法人連絡会の協力を得て、「赤い羽根共同募金解説動画」を作成し、動画のQRコードを広報物に付けPR活動を行った。</p> <p>新型コロナウイルス感染の影響から街頭募金運動の実施は見送り、募金箱設置か所を増やすことに力を入れ、市内54か所にすることができた（受配団体・東村山市社会福祉法人連絡会25か所含む）。</p> <p>初めて非接触型募金「au PAY（アプリ）」を実施したところ、3件入金があり、合計5,000円の協力があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区協力会 <p>8月30日（月）（緊急事態宣言下だったため書面開催）</p> <p>内容；①令和2年度共同募金運動報告、②令和3年度共同募金運動計画、③令和2年度地区協力会監事監査報告、その他</p> <p>3月24日（木）10：00～11：30 出席17名</p>

	<p>内容；①令和3年度共同募金運動報告、②令和4年度共同募金運動計画、その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・募金総額 1,266,331円 <p>③歳末たすけあい運動</p> <p>東京都共同募金会が主催する歳末たすけあい運動を推進した。赤い羽根共同募金時の「共同募金運動に関するアンケート調査」の結果をもとに、各自治会に募金運動への協力を呼び掛けた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワークを活かした募金箱の設置 東村山市社会福祉法人連絡会に依頼し、様々な施設に募金箱を設置。(15か所) ・デコ募金箱の募集 募金箱をデコレーションしてくれる子どもたちを募集するため、市内小中学校宛に募集チラシを配布した。しかし、思うように参加者が集まらなかったため、市内にある高等学校美術部に再度働きかけを行い、制作を依頼した。(制作数14) ・広報 ボラチルに、広報用テープを録音してもらい、広報車で募金期間中広く募金運動を呼び掛けた。また、ホームページには、ボラチルからの応援メッセージを掲載した。 <ul style="list-style-type: none"> ・募金総額 2,284,138円
<p>配分推せん委員会の開催</p>	<p>東京都共同募金会東村山地区配分推せん委員会を開催した。</p> <p>第1回 令和3年6月28日(月) 10:00~11:05 出席6名</p> <p>内容；地域配分の受付・評価方法の確認、受配団体見学について検討 オンライン施設見学会</p> <p>昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止としたが、今年度はオンラインを活用し、地区協力会委員にも声をかけ、ハイブリット型で見学会を実施した。</p> <p>令和3年9月24日(金) 10:30~12:00 出席11名</p> <p>内容；施設職員からの施設説明及び質疑応答</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ドリームハウス東村山 ②すくすくキッズ ③ひなたの道 ④まんぼう <p>第2回 令和4年1月21日に実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面決議に変更。</p> <p>内容；地域配分の配分推せん額決定、歳末たすけあい運動配分計画の検討</p>
<p>東村山市社協ファンダレイジングチーム(FRT)の開催</p>	<p>(1)事務局会議の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「東村山市社協ファンダレイジングチーム(FRT)」として開催。標準服リユース事業、移送サービス事業、自主財源の確保等について検討を行う。 ・チームメンバー；6名(管理職3名、法人運営係2名、まちづくり支援係1

	<p>名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局会議；4/19、5/11、6/17、11/11、12/2、12/10、12/16、3/18 ・内容；標準服リユース事業、移送サービス（対象拡大 他）、FRの取り組み等検討・実施 他 <p>※事務局会議の他、遺贈とマンスリー寄付を検討するチームに分かれ、打ち合わせを実施</p> <p>(2)ファンドレイジング(FR)実施に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・久津摩 和弘氏（COMMNET 理事）と社協で取り組むファンドレイジングについて打ち合わせ等を実施。今年度はオンライン（Zoom）にて実施した。 ・実施日；4/9、4/22、5/13、5/27、6/10、6/24、7/8、7/20、8/12、8/26、9/9、9/22、10/14、10/28、11/11、12/9、12/23、1/13、1/27、2/10、2/24、3/10、3/24 ・内容；東村山でのFRの進め方、ロジックモデルの作成、チラシ・パンフレットの検討 他 ・研修；2/20(日) FRJ2022（ファンドレイジングジャパン2022）に参加 <p>(3)ホームページ(HP)のリニューアル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月より一部公開ではあるが新HPの運用を開始。引き続きHP作成会社、寄付金オンライン決済会社と打ち合わせを行った。
自動販売機の設置	<p>公共施設等に5台を設置 令和3年度収益483,913円</p> <p>※3月31日現在（令和2年度；398,726円）</p>
その他自主財源の確保	<p>広告収入；1,581,000円（令和2年度；1,616,000円）</p> <p>印刷機使用料収入；261,071円（令和2年度；441,535円）</p> <p>※事務所内空調設備等改修工事により、印刷機の貸出を9月～2月中止した。</p>

(6) 法人管理事務（発展・強化計画関連事業）

項 目	実 績
法人管理事務	<p>係内で法令等の学習機会を毎月2回設け、法人運営・人事・給与等の法人運営管理事務を適切に行えるよう努めた。また、会計業務一元化及び10月からの空調工事による感染対策を踏まえた事務スペースの移転について係内で検討した。</p> <p>①人事・給与管理、社会保険、福利厚生・健康管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇給与・手当等の計算 ◇入退職手続 ◇労働者名簿の管理 ◇社会保険資格得喪手続 ◇健康診断予約 ◇産業医の配置 ◇マイナンバーの管理 ◇ストレスチェックの実施 など <p>②財務・その他管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇予算・決算 ◇経理事務 ◇金銭出納 ◇資産管理 ◇税務 ◇契約事務 ◇各種届出 ◇文書の收受・管理、建物・車両等の管理・点検 ◇建物防火管理 など <p>※今年度も新型コロナウイルス感染症予防対策として、アクリル板の設置、消毒液、防護服、マスク等の備蓄などを行った。</p>

2 計画推進・調査・広報・連絡調整

(1) 第5次地域福祉活動計画（WE LOVE♥東村山プラン）の推進

項目	実績
事務局会議の開催	第5次地域福祉活動計画の推進について検討を行った。 開催回数；12回／事務局職員；10名 内容；計画の推進について（重点アクションの進め方、アクションPT、地域懇談会のあり方、広報等）、推進委員会の開催に向けて内容・進め方等の検討 他 ※主にコロナ禍における計画の推進方法の検討
推進委員会の開催	・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策（緊急事態宣言）のため、オンライン＋会場参加の混合形式で開催。 ○第1回推進委員会（7月27日（火）午後6時～8時／オンライン＋会議室） 出席委員；6名／事務局；9名 (1) 新任推進委員紹介 (2) 令和3年4月～7月の活動報告及び活動予定；社協事務局会議、オンライン地域懇談会の開催について 他 (3) 各重点アクションの活動報告及び活動予定、広報 他 ○第2回推進委員会（3月24日（木）午後6時～8時／オンライン＋会議室） 出席委員；8名／事務局；10名 (1) 令和3年8月～令和4年3月の活動報告 (2) 各重点アクションの活動報告及び活動予定、広報、今後の推進、助成金報告 他
計画のPR	・地域福祉大会（4/17・土・中央公民館）にて Episode.1 として報告（委員長・ボラチルの登壇説明、活動動画の上映） ・福祉だよりへの掲載 ・（No.218）5.5次計画へアップデート 「コロナに負けない地域福祉の形をつくります」 ・（No.219）「あいさつ＋ひと言運動」 ・（No.221）Episode.2 2021年度の活動報告 ・SNSを使った広報；Facebook、twitterにて取り組みの報告 ・動画；アクションレポート（#008、#009）→ホームページ動画集に掲載（YouTube）
計画の推進	地域住民、関係機関、社協職員等で構成されるアクションチームで検討し、活動を推進した。（重点アクション①については各町のあいさつ運動推進委員会等の組織をアクションチームと位置づけた。） 各アクションでは、職員のみ事務局会議、アクションチームでの会議を開催し、推進の検討を行った。 新型コロナウイルス感染症により、開始当初の計画通りでは推進が困難になってきたため、“コロナに負けない福祉の形”として、コロナ禍でも出来ることを工夫して活動の取り組みを行う“5.5次計画”として新たな意識のもと活動を進めることとした。 ○オンライン地域懇談会 ・福祉協力員を対象に、オンライン（Zoom）形式で地域懇談会を開催した ・8月23日（月）午前10時～11時30分／参加者；13名 ・内容；コロナ禍での地域課題 など

	<p>○重点アクション①「あいさつ+ひと言運動」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナの感染状況に合わせて、各地区での実施。 実行委員会の開催（富士見町、萩山町） <p>○重点アクション②「町なか護美プロジェクト」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社協職員 Vo によるゴミ拾い活動の試行（4/2、5/7、6/18、7/16、8/6、8/20、9/17、10/14、11/5、12/3） ・「#護美プロジェクト（ハッシュタグゴミプロジェクト）」開始（10月～） <ul style="list-style-type: none"> ・地域で出来る活動として、活動団体、グループが参加。 ・参加；延べ13団体 <p>○重点アクション③「子ども協力員」の検討・募集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録10名（今年度新規登録3名） ・活動内容；地域福祉大会での活動報告、検温・受付などのお手伝い、ボラチルガーデンの整備、募金箱作成、長寿を共に祝う会メッセージ、募金広報の音声・動画モデル、ふれあい電話訪問・施設の正月膳・サロン利用者あてのメッセージカードの作成、施設の清掃活動など ・ボラチルニュースの発行（4, 6, 9, 10, 12, 1, 2, 3月）計10回※追加メニューの発信も含む ・活動報告会；3月26日・土／14：00～16：00 地域福祉活動室 <ul style="list-style-type: none"> ・参加者；5名 ・内容；自己紹介、活動報告、ボラチルからの活動報告、感想 ビブス披露、感謝状・記念品贈呈、登録更新、福祉だよ5月号 記事作成（黑板アート作成） <p>○重点アクション④「行きたくなる場所&場づくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サロンスタッフ情報交換会の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・12月10日（金）13:30～15:00／Zoom・地域拠点 /参加者19名 ・ヒントブックを活用したサロンの開催、地域拠点の活用、など ・コロナ禍におけるサロン活動の取材、動画撮影、公開
--	---

(2) 第5次社協発展・強化計画（WE LOVE 社協プラン）の推進

項 目	実 績
発展・強化計画の進行管理	係ごとに年間事業実施計画を作成し、管理職と係長・主査職による局会議において進行管理を行った。
市・社協総合調整会議の開催	地域福祉の推進に向け、事業の在り方について総合的に調整することを目的として、総合調整会議を開催しているが、令和3年度上半期は、緊急事態宣言発令のため対面での会議は開催していない。しかし、令和3年度重点的に協議を行う5事業の今後の方向性等については、書面にて双方協議確認を行った。

(3) 広報（発展・強化計画関連事業）

項 目	実 績
福祉だよりの発行	・第217号（5/1）、第218号（7/1）、第219号（10/1）、第220号（12/1）、第221号（3/1）を発行。※編集委員会については、部会・委員会を参照

ホームページ・SNS	<ul style="list-style-type: none"> ・新ホームページの運用を6月より開始（一部公開）。 ・Facebook、Twitterで「ぼんたくんのまちづくり日記—東村山市社協—」を展開。活動計画を中心に地域の活動について幅広い世代へ情報提供を行った。
出前講座	<p>社協事業や福祉制度への理解を深めていただくため、市民・団体からの要請に応じ、職員の専門知識を活かして出前講座を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇4月19日「困った！災害時の防災トイレ」（大岱小学校げんきひろば） ◇7月27日「介護保険での住宅改修、福祉用具について」（本町4丁目都営西側7自治会） ◇8月17日「介護保険、地域包括支援センターとは」（こんにやくサロン） ◇12月12日「ご存知ですか？お住まいの地域の防災課題」（土筆会自治会） ◇1月20日「成年後見制度（初級編）」（やったーまんぼう） <p>※コロナ感染拡大のため中止。</p>
その他 広報活動	<p>商店・事業所等の協力を得て、社協情報の広報紙やポスターの掲示、募金箱の設置等を行う「福祉協力店」事業を行い、社協活動のPRに努めた。</p> <p>福祉だよりで「あなたのまちの“協力店”」の連載を行った。</p> <p>（令和4年3月末現在：30店舗／新規加入；3店舗）</p>

（4）関係機関との連携・連絡調整

項 目	実 績
関係機関・団体との連携	<p>(1) 東村山市高齢者福祉施設連絡会</p> <p>東村山市高齢者福祉施設連絡会の事務局を法人運営係が担当した。</p> <p>○役員会；4/7（臨時）、4/23、9/31、1/24、2/7</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役員体制について、施設長会議、事務局会議の持ち方、施設連絡会活動について 他 <p>○施設長会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ①令和3年10月5日（火）13:30～15:30 オンライン（Zoom） <ul style="list-style-type: none"> ・令和3（2021）年度役員体制について ・令和3（2021）年度の連絡会活動の検討 他 ②令和4年2月8日（火）10:00～12:00 オンライン（Zoom） <ul style="list-style-type: none"> ・情報交換；新型コロナウイルス感染症の対応について、各施設の状況 ・連絡会活動について（事務局会議報告） 他 <p>○事務局（担当職員）会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ①令和4年1月28日（金）10:00～12:00 オンライン（Zoom） ②令和4年3月31日（木）13:30～15:30 オンライン（Zoom） <ul style="list-style-type: none"> ・施設連絡会活動について <p>○研修；科学的介護情報システム LIFE 情報交換会</p> <p>7/15（木）午後2時～3時30分／オンライン（Zoom）開催</p> <p>参加者；12名（事務局除く）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例年実施している、介護職短期派遣研修、栄養士研修、お年寄りの手作り作品展、市民向け施設見学会、職員親睦交流会については、新型コロナウイルス感染予防のため中止とした。

(2) 東村山市内社会福祉法人連絡会

事務局を東村山市社会福祉協議会が担当した。

○全体会

- ・第1回全体会（6/15・火・午後3時～4時40分）オンライン（Zoom）
（参加）参加；18法人／委任状；9法人／欠席；1法人／オブサーバー；東京都社会福祉協議会（地域福祉部）、東村山市地域福祉推進課
（内容）

- ①2020（令和2）年度事業報告及び決算報告（案）について
- ②幹事等役員の選任について
- ③2021（令和3）年度事業実施計画について（研修会、お弁当お届け事業、フードドライブ事業などの検討）
- ④情報交換
- ⑤東京都地域公益活動推進協議会の活動状況 他

- ・第2回全体会（11/16・火・午後3時～4時40分）オンライン（Zoom）
（参加）参加；13法人／欠席；15法人／オブサーバー；東京都社会福祉協議会（地域福祉部）、東村山市地域福祉推進課
（内容）

- ①2021（令和3）年度活動報告について（2021.4.1～10.31）
- ②研修会の実施に向けて；研修会テーマ「広報」
- ③情報交換（コロナ禍での地域とのつながりづくりについて）
- ④その他；東京都地域公益活動推進協議会の活動状況
東村山市知的障害者余暇活動室事業について（市健康福祉部 障害支援課）

- ・第3回全体会（3/15・火・午後3時～4時55分）オンライン（Zoom）
（参加）参加；15法人／委任状；9法人／欠席；4法人
オブサーバー；東京都社会福祉協議会（地域福祉部）、東村山市地域福祉推進課

（内容）

- ①2021（令和3）年度 活動報告について（2021.11.1～2022.3.11）
- ②2022（令和4）年度 東村山市内社会福祉法人連絡会事業計画（案）・予算（案）について
- ③研修会案内
- ④フードドライブ事業の協力について
- ⑤情報交換/東京都地域公益活動推進協議会の活動状況

- 幹事会；12回（4/19、5/18、6/22、7/13、8/31、9/21、10/19、11/22、12/20、1/18、2/15、3/8）

- ・2020（令和2）年度事業報告及び決算報告（案）、幹事等役員の選任、2021（令和3）年度事業計画及び予算（案）、事業実施計画、全体会の開催、公益活動 他

○研修会の開催

- ①「新型コロナウイルス感染症の標準予防策」

	<p>2021(令和3)年9月15日(水)午後3時～4時30分 講師；糟谷 貴子氏(白十字病院 看護部長、感染予防対策委員) 参加法人／事業所；10法人／16事業所 終了後、動画(YouTube)配信</p> <p>②「社会福祉法人・事業所における広報・情報発信を考える」 2022(令和4)年3月30日(水)午後3時～4時45分 講師；村井 祐一氏(田園調布学園大学 人間福祉学部 学部長・教授) 参加法人／事業所；6法人／11事業所 終了後、動画(YouTube)配信</p> <p>○地域公益事業の実施</p> <p>①暮らしの相談ステーション；各法人窓口にて実施</p> <p>②お弁当お届け事業；夏季休暇中の昼食対応を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期間；8月10日(火)～31日(火)土日を除く16日間 ・利用者；17世帯、25名(うち小学生17名、中学生8名) ・総配食数；346食／利用料100円(一食)；お弁当実費330円 ・お弁当調理；村山苑(村山荘、ふじみ保育園)、小さい共同体(飛翔クラブ)、天童会(秋津療育園) ・配達；社会福祉協議会、小さい共同体 ・その他；東京都公益事業推進協議会取材／動画公開 <p>○啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活動マッチングイベント・3月1日(火)～4日(金)に参加 ・連絡会紹介パネルの展示 <p>○東京都地域公益活動推進協議会活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン区市町村ネットワーク代表者連絡会 令和4年1月25日(火)午後2時～4時 <p>○「福祉のしごと 相談・面接会」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年10月11日(月)午後1時～4時 ・東村山市市民ステーションサンパルネ コンベンションホール ・参加；9法人／参加者32名(事前申し込み14名、当日参加18名) ・参加9法人中5法人が採用面接を行った。 <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・静岡県施設経営法人・社会福祉協議会合同研修会 ・令和3年3月3日(木)午後1時30分～4時16:00 Zoom ・活動事例報告；田島 博志氏(社会福祉法人村山苑)／事務局
--	---

(5) 実習受入

項 目	実 績
実習生受入	<p>社会福祉士を目指す学生を対象に、社会福祉援助技術現場実習の受け入れを行った。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策として従来の長期分散型は行わず、受入人数・期間を限定した形で実施した。5つの係に4日ずつ配属し、社協を包括的に理解できるプログラムにした。</p> <p>[7月30日～9月2日・24日間]</p>

- | | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none">・東京学芸大学 1 名・日本社会事業大学 1 名・日本福祉教育専門学校 1 名・文京学院大学 1 名・明星大学 1 名・オリエンテーション（7/30）、グループワーク（3回）他・実習担当者会議；2回 |
|--|--|